

横浜技術士懇話会 2019年3月研修会

電気技術者の独学から読み解く文明史

電気脳から解く、環境の複素的世界認識
(文明・文化・人の意識)～技術の位置づけ

田 中 文 夫

日本山岳文化学会 正会員

総合人間学会 正会員

建築設備士

2019年 3月 8日 (金)

日本山岳文化学会 (文科省傘下学術研究団体)

2003年設立 (正会員)
 ・ 設立から10年間=評議員

総合人間学会 (文科省傘下学術研究団体)

2006年設立 (正会員)

設備建築士 (国交省:建築士法)

1986年(昭和61年)新設

現在の国家資格偏差値ランキング:

= 国家公務員77(超難関)、**技術士70(難関)**、技術士補60、**建築設備士58(普通)**

昭和62年2月3日<火曜日> (6)

建	設	新	開
夫 下田修平 宇治佑夫 中 磯部達夫 中谷義宣 城之内 田和彦 大竹育男	高木英二 【一〇〇〇一九九】30 鎌倉高一 鈴木秀夫 桑田 村明文 佐藤晴一 定永哲雄 俊英 樋口武 結城良雄 今 紳五 松井秀文 大高新太郎 上瀬一信 間辺洋二 坂田伸 井豊人 遠藤理英 加納正人 小野耐治 感英俊 清水勝治 田久直 伊藤信義 齊藤道雄 岡田高 遠藤富信 中尾有助 土肥口清 遠藤七郎 鈴木敏 高塚博志 山口政功 天野修三 黄木金四郎 井上聡 山	木敏一 江崎克雄 藤田泰市 【四〇〇〇四九九】19 藤田信治 佐々木春雄 鈴 戸井孝行 河角真人 本多	明 山本利昭 山本幸夫 多 守 中林満雄 北川信重 西 田野安正 内川幸昭 池上正 川雅夫 山本昭一 小林克幸 明 大原宏彦 小笠原勝治 鈴木潔 小島邦晴 堀田博 須田潔 中尾宣義 永廣彰久 今西隆生 結城理 岩本義行 後藤積久 小池秀司 新井良 城之内牧 中澤美彦 阿部洋 松本俊雄 内野栄吉 藤田和 和 高山義貴 白田淳一 重 吉川博 岸正史 堀ヶ谷邦 孝 浅井潤二 宮本豊 伊藤 松信治 佐藤仁則 工藤峰男 男 寺越良 松井篤示 佐々 仁 真船恭一 志村和昭 林勝洋 東出憲一

建設技術教育普及センター
 が三十日発表した六十一年建 築設備士試験結果は、受験者 数九、一二人に対し合格者 数は一、二六一人、合格率は 一三・八%だった。また、建 築設備士講習は、昨年十二月 十三日までの受講者数七、六 九六人のうち七、四三四人 (九六・六%) が受講修了し た。建築設備士の試験、講習 とともに今回が第二回目で、 八、六九五人の初の有資格者 が誕生した。

東京会場の合格者は次のと おり。

林和男 杉原義文 塩崎静雄 中山博 遠藤誠吉 藤澤功 【五〇〇〇五九九】20
 渡辺正和 日比谷勝弘 田村 裕行 榎田幸正 中村健一 人 黒澤榮一 野原文男 才 横山正博 小林有成 蛭須隆 原明男 山中英 安中眞介 野丸山広一 野坂弘幸 北村規 内田孝 郷正明 斎藤雄二 嶺崎昭二 田中一典 仲家幸 雄 不破俊茂 田口和人 紀 清水秀一 森重泰生 近藤 井重勝 小島博 古賀水雄 【三〇〇〇二九九】20
 正彦 平田稻美 内田敏夫 平尾布行 【六〇〇〇六九九】19
 野村洋司 飯村正 向井慎司 浅倉晴司 阿部 平石一夫 野村秀男 寺尾良雄 小 林茂樹 五味鎮一 横町未廣 賢一 上船信久 仙波正男 五十嵐廣 原田繁樹 大久保 佳介 石毛敏幸 高橋幸三 田中実 大角義雄 【三〇〇〇三九九】21
 鈴木正一 田口克之 澤口 赤羽勉 南波雅 県

第1回試験合格 (1番目合格)

受験者数 = 9, 112名

合格者数 = 1, 261名

合格率 = 13.8%

講習会取得者数

= 7, 434名

受験資格 (現在は大卒経験2年)

- ・ 大卒経験8年以上
- ・ 高卒経験12年以上
- ・ その他経験15年以上

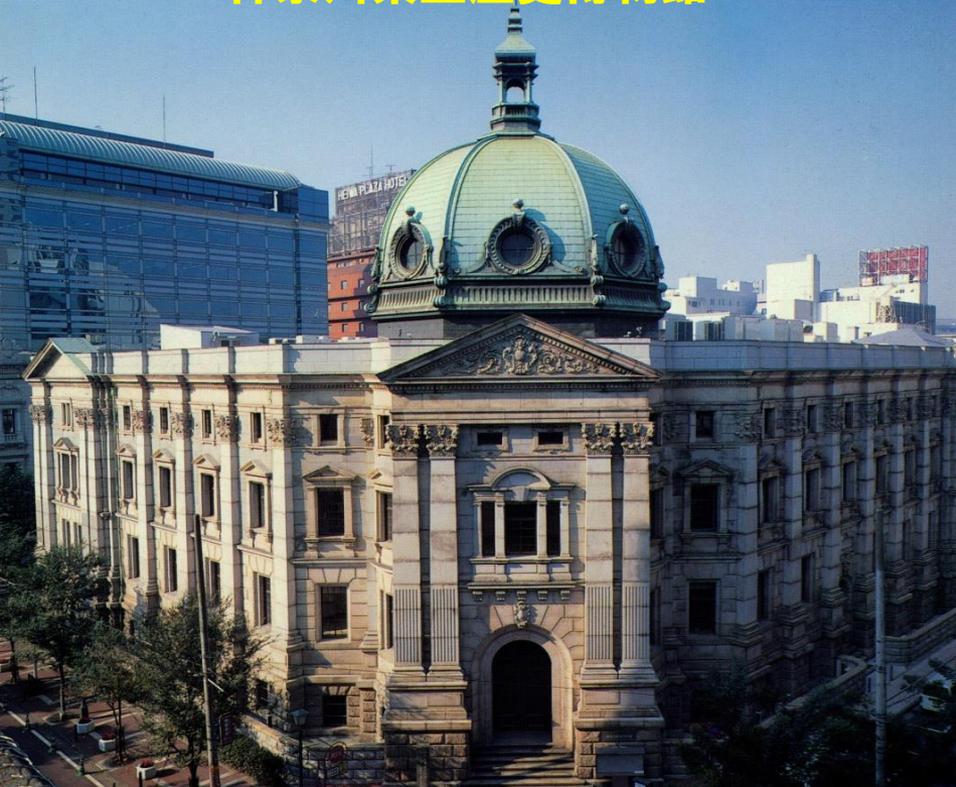
1次試験 = 学科、法規

・ 建築50%、機械35%、電気15%

2次試験 = 計画、製図

× 3次試験 = 面接 (現在無し)

神奈川県立歴史博物館



横浜港シンボルタワー



金沢シーサイドライン本社&車輛基地



かながわアートホール



田中文夫 < ◆著書・冊子印刷物 > (ISBN番号)

◆ **青春のヒマラヤに学ぶ** (2001年) **文芸社**

◆ **頂のかなたに** (2003年) **日本文学館**

• **若き日の山々** (2014年)

• **老いの道標** (2014年)

• **登山の総合人間学** (2015年) **国立国会図書館蔵書**

• **登山の生態分類(学)** (2016年) **国立国会図書館蔵書**

• **山の空気 森のざわめき** (2017年) **国立国会図書館蔵書**

• **山と美の終焉** (2017年) **国立国会図書館蔵書**

• **雑学 日本文明物語** (2018年6月) **国立国会図書館蔵書**

• **烏尾山仲尾根物語** (2018年7月)

• **丹沢山麓 山岳文化集 ① ② ③** (2018年12月) **国立国会図書館蔵書**



雑学
日本文明物語

相模國 第四之宮から



田中文夫

国立国会図書館蔵書 詳細情報

日本文明物語：相模國第四之宮から：雑学
田中文夫 著

詳細情報

書誌作成中 

タイトル：日本文明物語：相模國第四之宮から：雑学

著者：田中文夫 著

著者標目：田中, 文夫, 1946-

出版地(国名コード)：JP

出版地：[出版地不明]

出版社：[田中文夫]

出版年月日等：[2018]

大きさ、容量等：231p ; 21cm

注記：年表あり

注記：文献あり

注記：著作目録あり

価格：非売品

出版年(W3CDTF)：2018

対象利用者：一般

資料の種類別：図書

言語(ISO639-2形式)：jpn：日本語

『日本文明物語』 構想の動機

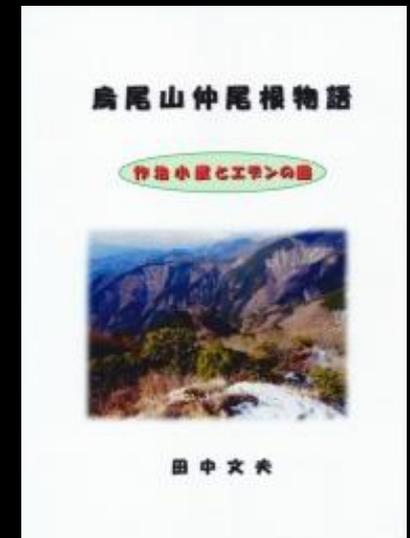
1. **中村純二先生**＝東京大学名誉教授の論文『三輪山と国の始まり』（2017年日本山岳文化学会論集）で、「**天皇系図**」をPCで作成。各々の天皇につき、確認作業で内容に踏み込み、興味を持つ。
 - **奥様(あや)**は、**金森徳次郎**＝憲法担当国務大臣の次女。
2. **自分探しの旅**
 - 生誕地**相模國第四之宮**神社の祭神＝ウジノワキイラツコ（15代応神天皇の第6皇子）と、神社の**15菊花紋章**（天皇家は16菊花紋）への疑問から、天皇への関心が広がる。（**古代イスラエル**）
 - **集団に馴染まない性格**は、何に由来するのかの疑問。
 - 幼少期から、いつも天から見透かされている感覚があり、**完全**（総合、統合）でないと**不安**にかられた。（**救われたのが登山体験**）
 - **完全なイメージ**は、**球体**にありそうな感覚→高校の卒業文集に書く
3. **鈴木弥栄男氏との出会い**→上記、中村先生のポルトガル講演会
 - **トインビー**『**図解 歴史の研究**』対訳書の「**文明整理**」を参照。

中村純二先生(95歳)とあや様(90歳)

< 2018年 >



<2019.2.21>



鎖につなぎ、置き去りにした15頭の南極犬

＜ 幻の 第二次越冬隊 ＞

宗谷に帰還するビバー機内から中村先生撮影



< 第三次隊が再会 >
生きていた **タロ** (奥) と **ジロ** (手前)



夕口 (左)、中村先生、ジロ (右)
第三次越冬 (白瀬氷河上流：奥氷河岳270m)



電 気 脳 から解く

複 素 的 世 界 認 識

ヒトの**認識**は全て・・・

5感信号による・・・**イメージ!**

考える上での基礎事項 - 1

量子物理学から

観測により、目に見え、数える、ことができる物質的存在は、
宇宙総体のたった5%未満。(科学的証明の限界)
95%以上はダークマター(暗黒物質、暗黒エネルギーで、まだ分からない)

相対性理論から、観測者の視点の違いにより、空間的・時間的な結果は異なる。

客観的とは = いかなる観測者(見る)によっても、同じ結果を得る = 事実の普遍性

主観的とは = 一人の観測者(見る)が得る結果で、必ずしも他の観測者が、
同じ結果を得られるとは限らない = 事実の断片性(デジタルック)

※ ビッグデータ活用時代 → 断片情報のフラクタル性(相似)から全体像を再構成

認識とは = 人間の意識は、5感による入力信号により、脳内でイメージ事象を形成
し、認識となる。その時間は最大で 0.5秒 遅れる。

ベンジャミン・リベット 『マインド・タイム』(脳と意識の時間を発表)

複素的世認識 = 実数 + 虚数 = 実物世界(客観的) + 感性世界(主観的)

考える上での基礎事項 - 2

分子生物学から ~ 淀み理論

生体を構成している分子は環境からやってきて、一時、「淀み」として私たちの体を作り出し、次の瞬間にはまた環境へと解き放たれる。環境は常に私たちの身体を通り抜けている「流れ」そのものであり、その「流れ」自体が「生きている」ということになる。

「生命」とは、「動的な平衡状態にあるシステム」である。

シェーン・ハイマーが提唱 → 「動的な平衡」: 福岡伸一

動的平衡理論から、分子によって作られる物質は、絶えず空間的・時間的な流れの中で、代謝を繰り返し変容している。だから人間は、次世代への引継ぎ（代謝）が大切！！

生命とは = 環境の中で、代謝を続けながら継続を保つ状態

生きるとは = 環境の流れの中で、淀みの個体として運動すること

人間の5感

＜ニューロ信号による
イメージ形成＝具象認識＞

脳＝具象認識

視覚

＜光＝電磁波＞

目

聴覚

＜音波＞

耳

臭覚

＜気体分子＞

鼻

味覚

＜液体分子＞

舌

触覚

＜触圧＞

皮膚

↑センサーで信号変換↓

ネットワーク
ニューロ

前頭連合野

思考・学習・推論・
意欲・情操

運動連合野

体を動かす指示

5つの連合野の機能

頭頂連合野

感覚情報を分析し、
空間を認識する

側頭連合野

形の認識・記憶
聴覚・言語・言葉
・漢字・カナ・
コミュニケーション

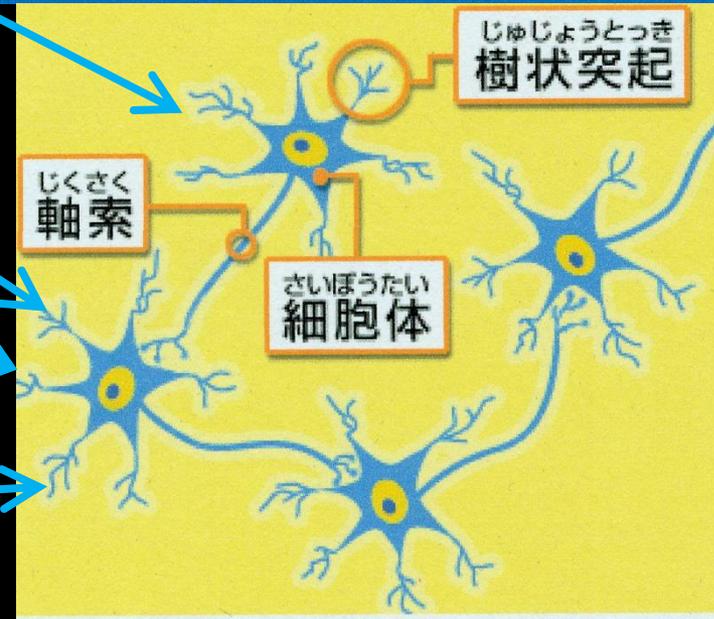
後頭連合野

視覚・言語情報、視覚
から有益情報を引出す

大脳

脳幹

小脳

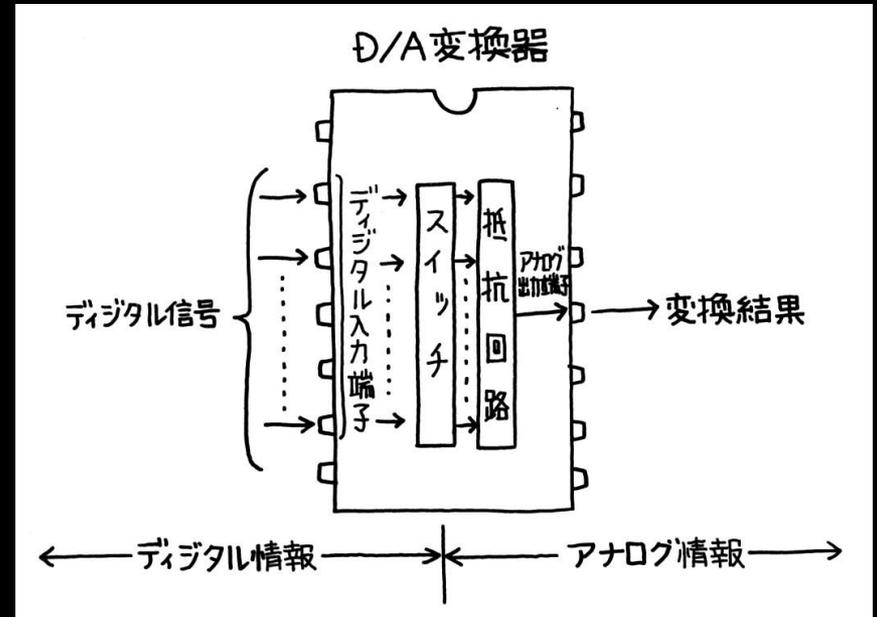
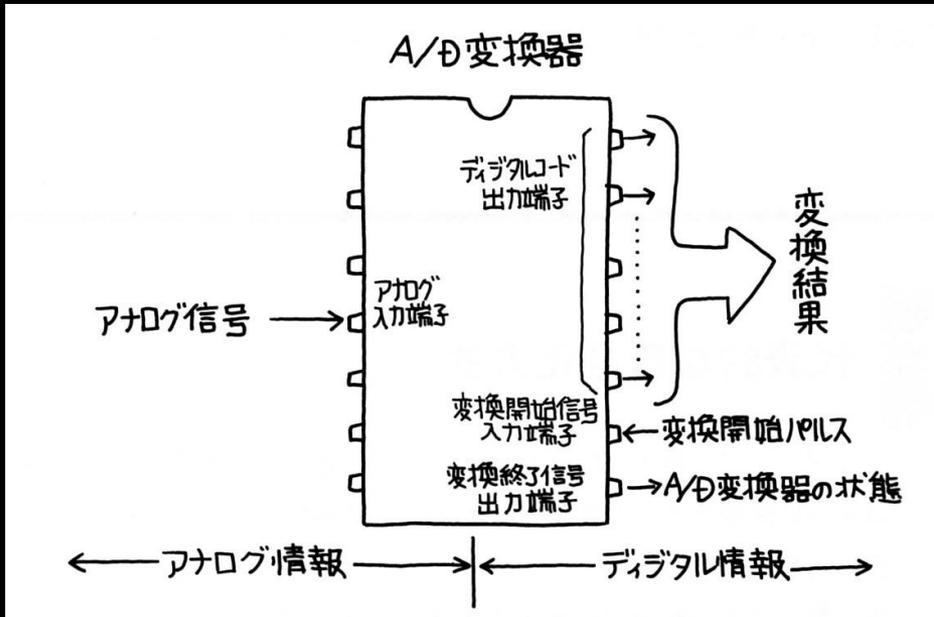


シナプス結合

エンコード (符号化)



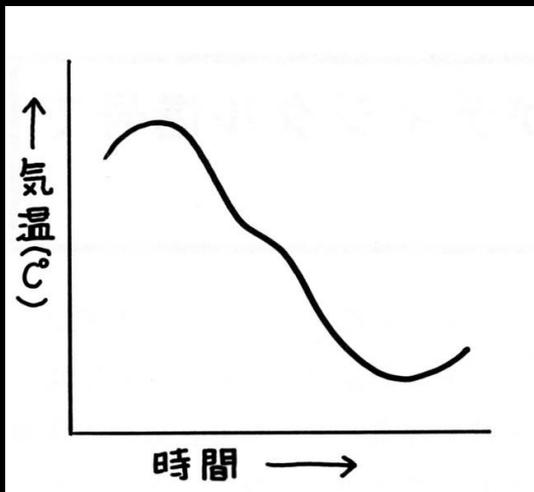
デコード (復号化)



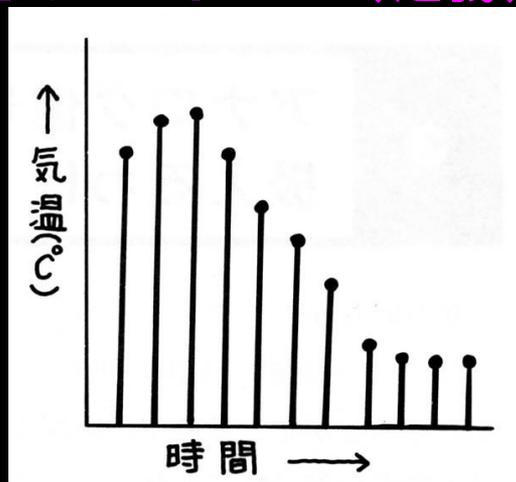
アナログ信号
連続性 = 日常の自然

デジタル信号
瞬時を人工信号化
全てプロトコル (定義)

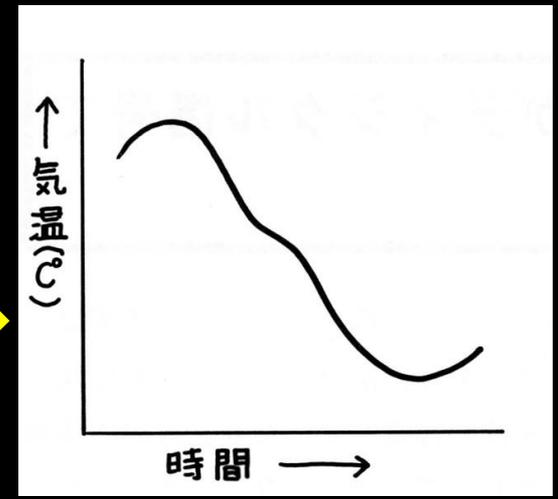
アナログ信号 = 因果関係
デジタル信号 = 因果なし



エンコード
↓

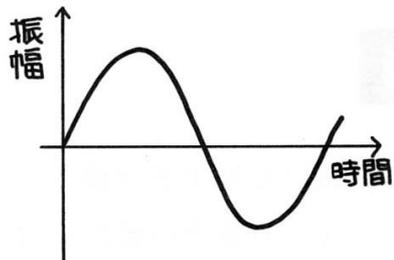


デコード
↓

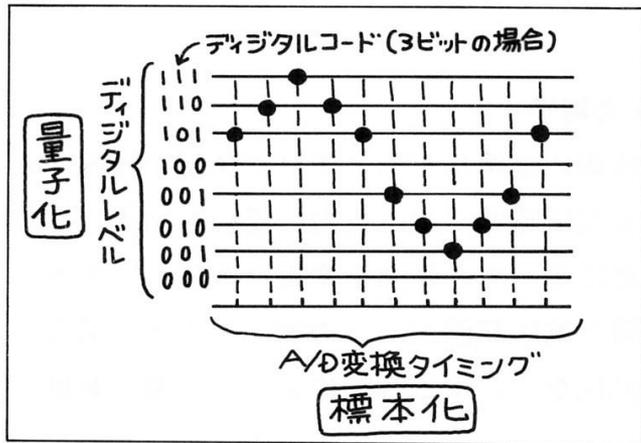


アナログ → デジタル変換

アナログ入力



A/D変換



変換結果

101
110
111
110
101
011
010
001
010
011
101
...

↓ 時間

(量子化された結果のデジタルコードが) 標本化順に並んでいる

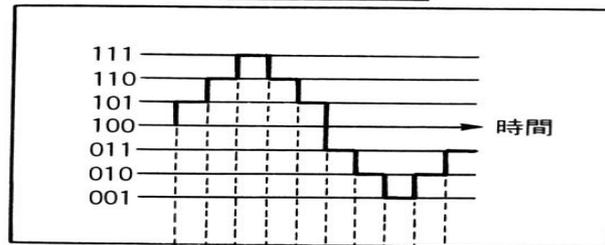
デジタル → アナログ変換

デジタル入力信号
(デジタルコード)

101
110
111
110
101
011
010
001
010
011



D/A変換



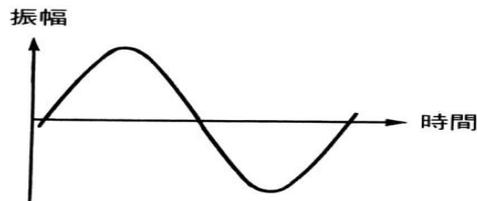
D/A変換
タイミング信号

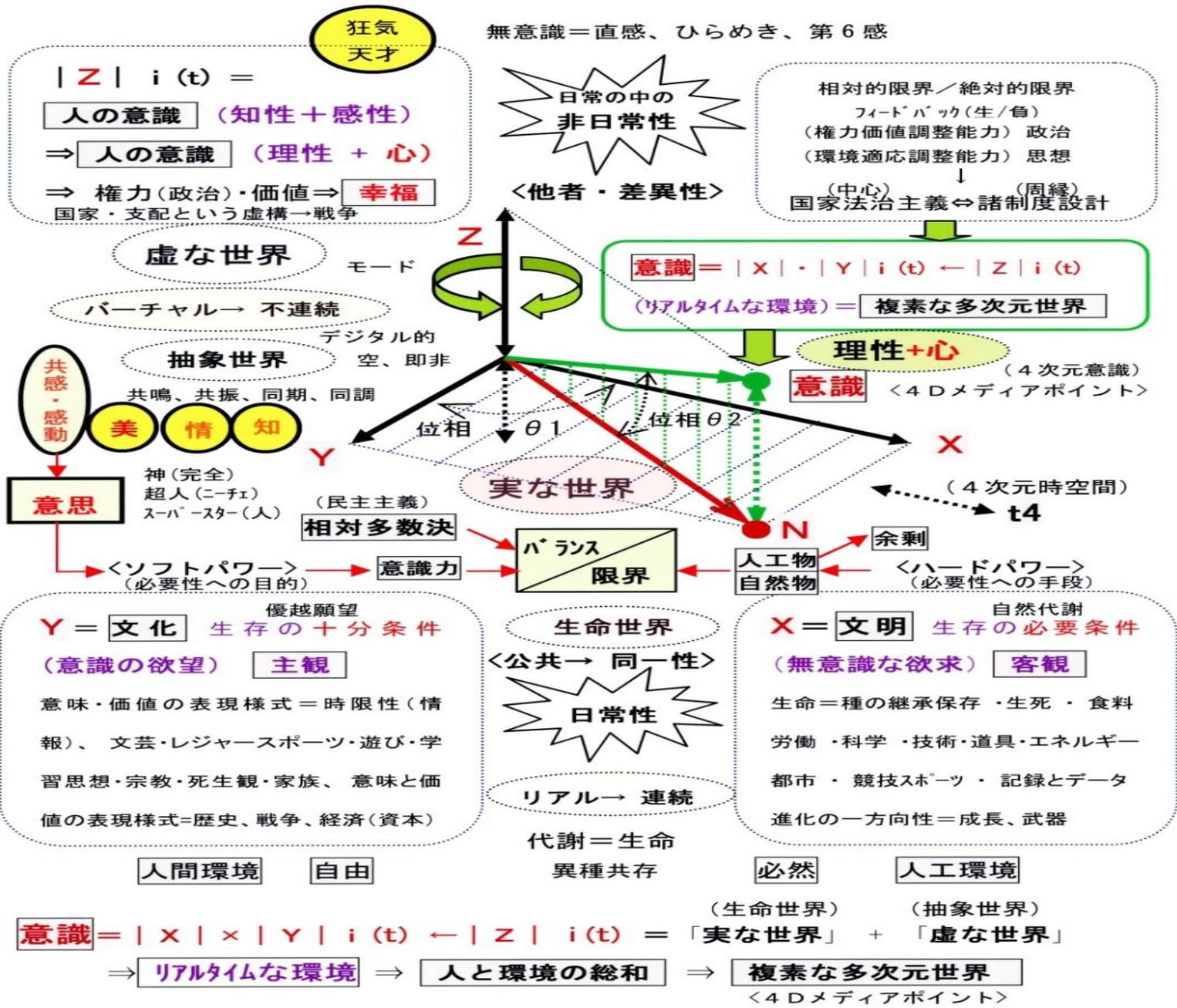


ローパスフィルタ



D/A変換出力波形

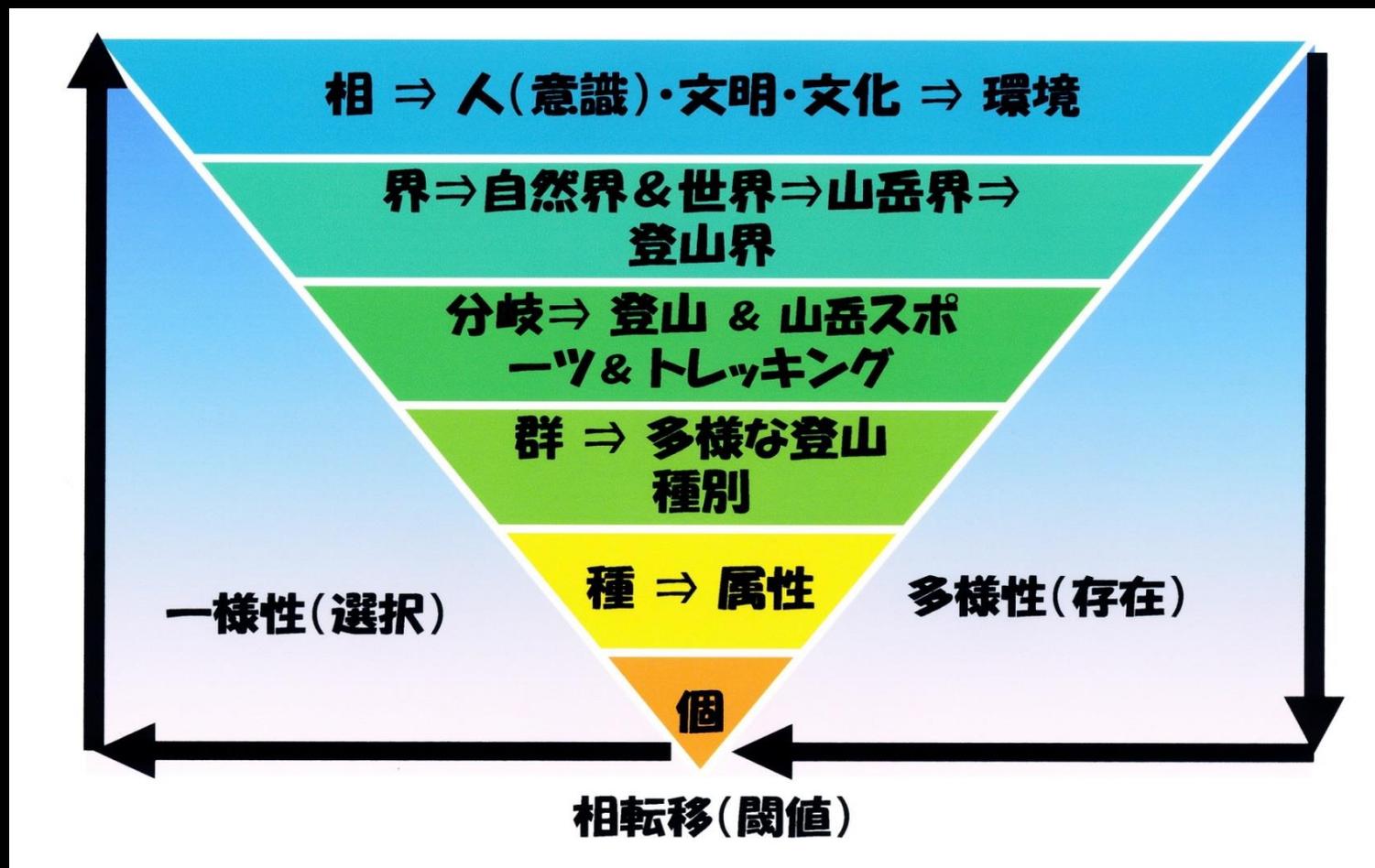




信号脳 ↓ **複素的認識** = **人工知能の認識**
人工知能の苦手 ↓ **創発 (プロトコルにない発想)**

複素的思考法の相転移 (例=登山)

形而上 = 抽象 = 概念 = 意識 (見えないもの)



形而下 = 具象 = 実態 = 現実 (見えるもの)

【 文明・文化・意識 の ベクトル 解釈 】

1. **文明**とは → **実相世界（進み位相）** = X

◆ 広域生活技術と規範

◆ **普遍性** → 都市、産業、科学、**技術**、法典、etc

◆ 可視的 → 物質性**進化**の一方向性

2. **文化**とは → **実相世界（遅れ位相）** = $(i) Y$

◆ 特定価値の生活様態

◆ **多様性** → 宗教、思想、美（心）、様々な価値様態

◆ 文明制御 → 文明より遅れ位相、文明価値の**バイアス**制御

3. **意識**とは → **虚相世界** = $(i) Z$

◆ 意識の結像 → ニューラルネットワーク上の信号形象（虚像）

※ 知覚は最大で0.5秒遅れる 『マインド・タイム』ベンジャミン・リベット

◆ 脳機能 → 信号処理、判断、命令、保存・上書、創発

◆ **複素的認識統合** = $\Sigma [\text{文明} \times (i) \text{文化} + (i) \text{意識}]$

= $\Sigma [X \cdot (i) Y + (i) Z]$

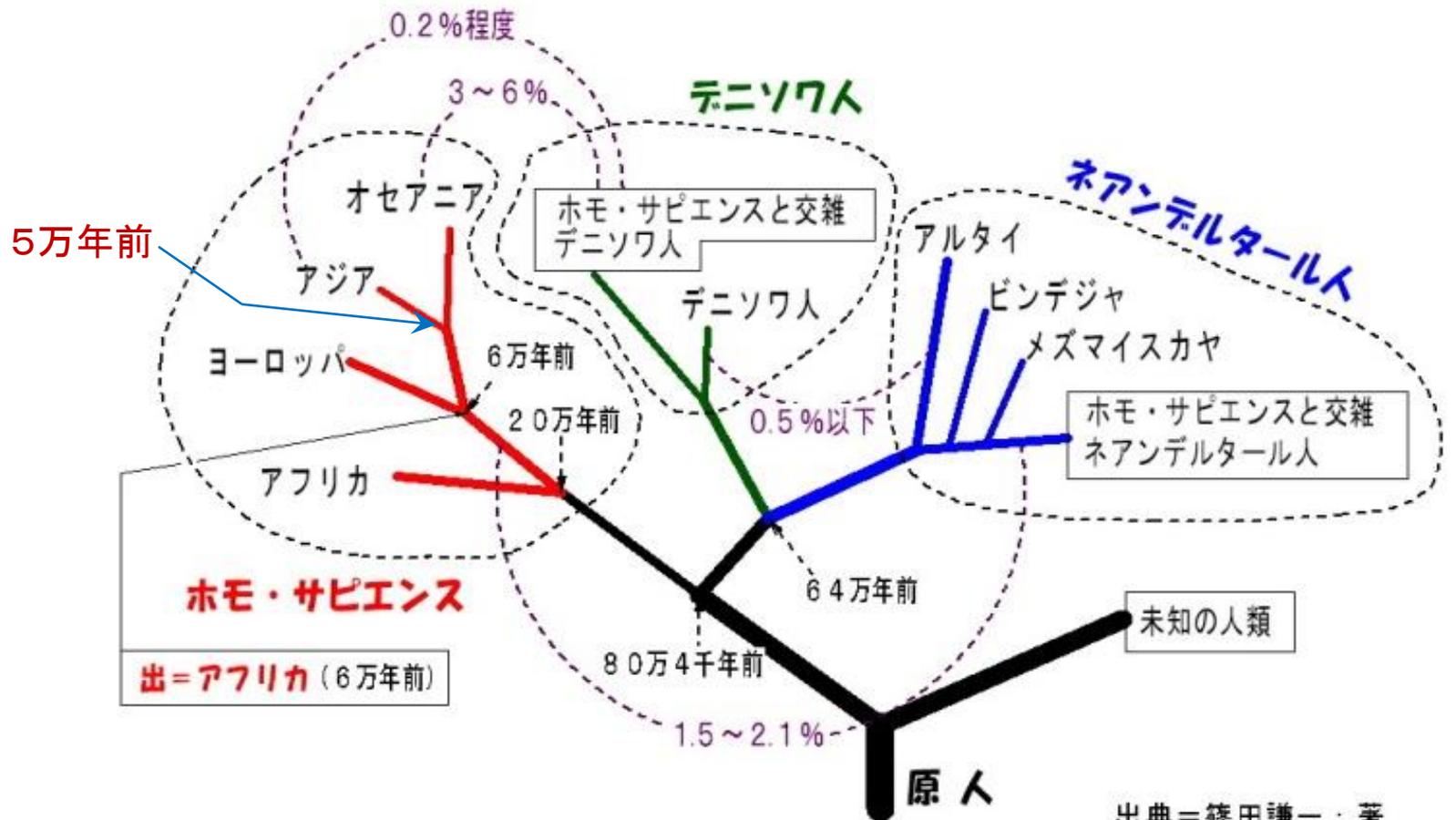
【 複素表現の例 = 総合 ← 相補性 】

光	→	粒子の性質	+	(i)	波動の性質
可視	→	見える (光反射)	+	(i)	見えない (光吸収)
信号	→	デジタル (離散)	+	(i)	アナログ (連続)
思考	→	客観的思考	+	(i)	主観的思考
学問	→	理系 (論理→実証)	+	(i)	文系 (抽象→物語性)
論理	→	2進法 (コンピュータ)	+	(i)	60進法 (算盤)
技術	→	ハードウェア	+	(i)	ソフトウェア
宗教	→	一神教 (2元論)	+	(i)	多神教 (多元論)
社会	→	文明 (生活普遍性)	+	(i)	文化 (生活多様性)

現世人類

ホモ・サピエンスの変遷と
文明展開

ホモ・サピエンスの誕生 (約20万年前～アフリカ)



ホモ・サピエンスと他原人との交雑系統

出典=篠田謙一：著
『DNAで語る 日本人起源論』
作図=田中文夫

【 第1段階 ホモ・サピエンスの世界展開 】

1. ホモ・サピエンス（現生人類の祖）

- ・ 約20万年前にアフリカに誕生
- ・ 約6万年前にアフリカを出立～アラビア半島～中東へ
- ・ 途上でネアンデルタール人、デニソア人と交雑

（次頁参照 → 身体的な強さを補強）

- ・ **道具の発明** → ① 縫い針（毛皮）～シベリア踏破
② 丸木舟（渡航）～海洋渡航

2. 西側（ヨーロッパ）への展開 → コーカソイド（騎馬系）

3. 東側（アジア）への展開 → モンゴロイド（海・農系）

4. 東南側（オーストラリア）への展開 → オーストラロイド

5. 日本列島へ到達 → 縄文人となる（Y染色体D系統）

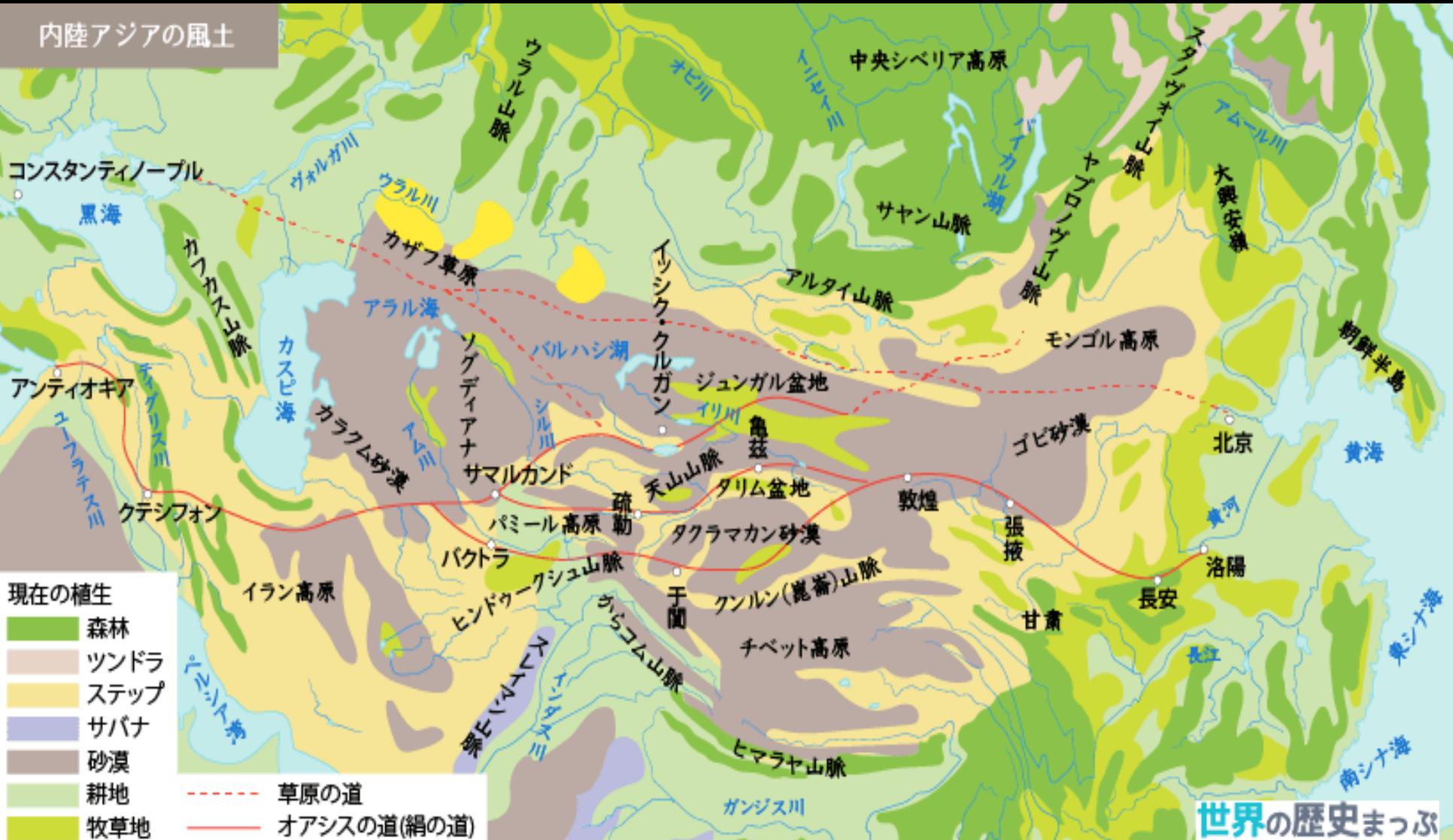
- ① 約4～2.5万年前 → 台湾～琉球列島～九州（閩蔑族）
- ② “ → 朝鮮半島～九州（安曇族）
- ③ 約2万年前 → シベリア～サハリン～北海道（毛族）

【第2段階 古代文明の世界展開】

1. **古代文明は、ウバイド→シュメール→メソポタミア**の地でBC5,500～BC3,000頃発祥し、BC3,000頃からウラル山脈～コーカサス山脈はさんで、東 / 西 へ拡散
2. **西側（ヨーロッパ）への展開は → コーカソイド**
アーリア系が主体 → 自然分析（一神教徒、無神論者）
特徴
 - 屈折語（文法構造＝インド・ヨーロッパ語族）
 - **二元論（2進法＝分析・科学）**
 - **戦争、略奪、交易、騎馬** ～ 移動
 - **狩猟、牧畜、農耕（内陸）** ～ 定住→**城塞都市**
3. **東側への展開は（アジア） → モンゴロイド**
スメル系が主体 → 自然崇拜（多神教、崇拜）
特徴
 - 膠着語（接頭語、接尾語で構造＝日本・朝鮮・モンゴル等）
 - 孤立語（一語一形態＝シナ・チベット等）
 - **多元論（60進法）、多神教、自然・人物崇拜**
 - **農耕（川沿平野）、漁労（海辺）、村落定住、交易**

東アジア展開ルート の風土 (騎馬系)

- ① 草原の道 (北ルート)
- ② オアシスの道 (西ルート)



【古代文明の世界展開 - 1】 ~ 騎馬系

西側（ヨーロッパ内陸）への展開 → コーカソイド

東側（アジア内陸）への展開 → モンゴロイド

1. **高緯度、低温・乾燥気候 = 農耕に適さない**（北欧）
中緯度、砂漠・乾燥気候 = 塩水濃度が高い（地中海、シルクロード）
 - ・石の文明 → 金属を素材とする無機物文明・文化
 - ・生存の文化 → いかに生き残るか（安心領域確保～城塞・鍵）
2. **狩猟、牧畜、酪農 = 肉食 = 騎馬民族**
 - ・特徴 = 移住生活 → 略奪、殺戮、攻・守
 - ・狩猟技術・武器 = 罠、囿、騙し、殺す
3. **2元思考が発達 = 2元論、2進法** → **デジタル思考**
 - ・プロトコル（定義）文化 = 論理で定義し尽くす
 - ・**デジタル思考** = 2元判断（敵/味方、正/反、YES/NO）
曖昧さのない空間プロット（離散的） → 数値、序列
 - ・一神教、科学、コンピュータ等が発達
 - ・思想（論理思考=〇〇主義、倫理思考=モラル）

【古代文明の世界展開-2】 ~ 海・農系

東側（南アジア）への展開 → **モンゴロイド**

- 1. 中緯度、温暖・湿潤気候 = 農耕に適す**（南東アジア）
低緯度、高温・多湿気候 = 農耕・漁労に適す（南アジア）
 - ・土の文明 → 土を素材とする有機物文明・文化
 - ・土の文化 → いかに生活を楽しむか（共存共栄～鍵なし）
- 2. 漁労・農耕 = 魚貝・農作物生活 = 海人・農耕民族**
 - ・特徴 = 集団定住生活 → 村落・地域 = 共助・扶助
 - ・農耕・漁労技術 = 灌漑、舟
- 3. 多元思考が発達 = 多原論、60進法 → アナログ思考**
 - ・寛容な文化 = 連続的 → 集団化、均質化
 - ・多神（ヒンドウー教、神道=八百万神、自然崇拜神）
 - ・思想（思念瞑想的=仏教、論理的=儒教）
 - ・占星・祈祷、暦・時間（60進法）
 - ・**ウバイド精神文明 = 波動的拡散**（以心伝心、共鳴、同調）

【 東アジア展開は → 日本列島で習合 】

- 1. 北ルート**（シベリア～モンゴル～日本列島）約2万年前
スメル系＝移住～狩猟、採取
・モンゴロイド ～ 毛族 ～ 縄文人
- 2. 西ルート**（シルクロード～満州～朝鮮～日本列島）
スメル系＝移住～狩猟、牧畜、騎馬、青銅器、戦争 BC8世紀
・崑崙山脈～スメル系騎馬人～銅鐸族～日本（出雲族）
西ルート（神農～中国～日本列島）BC3世紀頃
スメル系＝定住～農耕、土器、鉄器、交易
・崑崙山脈～中国（神農）～日本（安曇族）～ 縄文人 BC7世紀頃
老若男女と百工（徐福）～ 弥生人 BC219年
- 3. 南ルート**（東南アジア沿岸～沖縄～日本列島）BC1,400頃
スメル系閩蔑海人族＝定住～漁労、採取
・ウバイド系海人族（ヘイ、タチバナ、ワタツミ）～ 縄文人
- 4. 習合の結果** → 天皇家を **国体** とした「**和合国家**」に収斂
・ **政体**（統治者）を分離し、天皇、武家、市民、が担う

【日本列島で習合の結果】

① 天皇を中心とし、日本列島に収斂

- ・ 神武天皇（海人系）初代 ~ 平成天皇（騎馬系）=125代

② 国譲りにより護国体制確立（第1回天孫降臨）騎馬系

- ・ 第9代=開化天皇（海人系）から ←（落合莞爾・説）
- ・ 第10代=崇神天皇（騎馬系）へ国譲り=護国体制確立
- ・ 政体=騎馬系（天皇）と、国体=海人系（皇后）に分離

日本の
特殊性

政体=権力≒軍事力→天皇、武家、国民→戦後民主主義
国体=民族をまとめる思想の中核→戦後の象徴天皇

③ 八幡大神体制確立（第2回天孫降臨）騎馬系

- ・ 第15代=応神天皇（騎馬系）= 現・皇統の始祖
- ・ 全国に八幡神社普及~八幡神社は→戦の神

④ 聖徳太子の改革

- ・ 律令政体（17憲法条）和を以て貴しとなす
- ・ 国体護持（神仏習合=神道・儒教・仏教=日本教確立）

西側へ展開した白人(騎馬系)

一神教・二元論の世界制覇 (騎馬系)

一神教・二元論の世界制覇 (騎馬系) 多神教・多元論文明を征服 (海農系)

- ◆ 16世紀=スペイン人(騎馬兵)らにより中南米の原住民(インディアス)が征服される。
 < 征服の犠牲者推計=『侵略の世界史』 >
 - ・カリブ海域≒38万人
 - ・アステカ地域≒2,400万人
 - ・インカ地域≒820万人
- ◆ 17世紀=清教徒らが北米入植により、原住民(インディアン)が征服される。
 ・アフリカの黒人は奴隷として白人に売買され、人権のない労働商品となる。

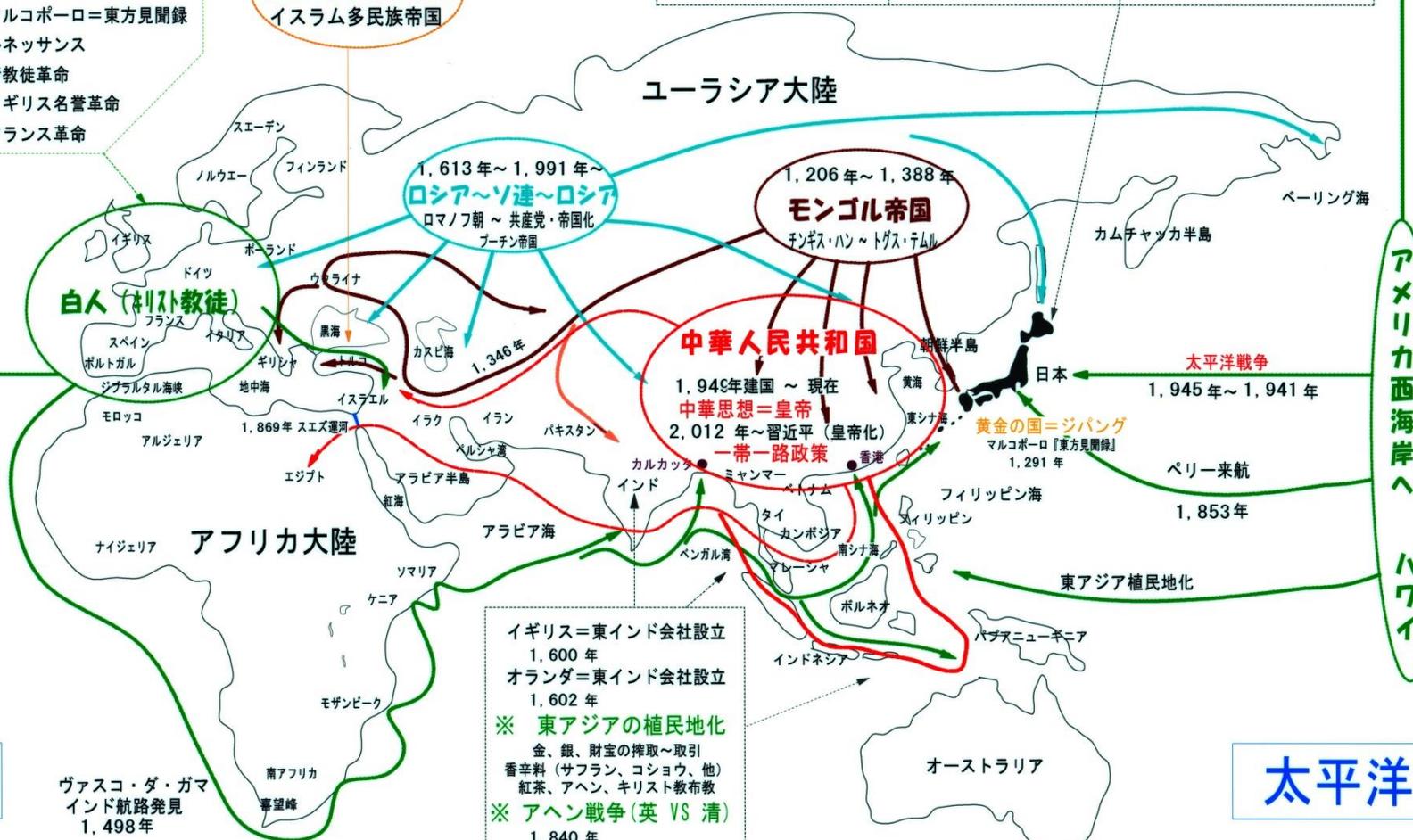
- | | | |
|-----------------|-----------------|-------------------|
| ① 200年~3韓征伐 | ⑥ 1,592年~秀吉朝鮮出兵 | ⑪ 1,937年~日中戦争 |
| ② 391年~倭国朝鮮出兵 | ⑦ 1,894年~日清戦争 | ⑫ 1,940年~大東亞戦争 |
| ③ 663年~白村江の戦い | ⑧ 1,904年~日露戦争 | ⑬ 1,941年~太平洋戦争 |
| ④ 1,274年~蒙古来襲-1 | ⑨ 1,917年~シベリア出兵 | ⑭ 1,945年~敗戦(原子爆弾) |
| ⑤ 1,281年~蒙古来襲-2 | ⑩ 1,932年~満州事変 | ⑮ 1,946年~日本国憲法公布 |

1,275年~1,295年
オスマントルコ帝国
イスラム多民族帝国

1,613年~1,991年~
ロシア~ソ連~ロシア
ロマノフ朝 ~ 共産党・帝国化
プーチン帝国

1,206年~1,388年
モンゴル帝国
チンギス・ハン~トグス・テムル

中華人民共和国
1,949年建国 ~ 現在
中華思想=皇帝
2,012年~習近平(皇帝化)
一帯一路政策



- ・1,096年~第1回十字軍遠征
- ・1,291年~第9回十字軍遠征(最終)
- ・1,296年~マルコポーロ=東方見聞録
- ・1,300年~ルネッサンス
- ・1,641年~清教徒革命
- ・1,688年~イギリス名誉革命
- ・1,789年~フランス革命

アメリカ東海岸へ
1,620年
清教徒アメリカ入植
1,498年
マゼラン世界一周出発
1,511年
コロンブス→アメリカ到達

アメリカ西海岸へ
ハワイ

大西洋

太平洋

イギリス=東インド会社設立
1,600年
オランダ=東インド会社設立
1,602年
※ 東アジアの植民地化
金、銀、財宝の搾取~取引
香辛料(サフラン、コショウ、他)
紅茶、アヘン、キリスト教布教
※ アヘン戦争(英 VS 清)
1,840年

ヴァスコ・ダ・ガマ
インド航路発見
1,498年

一神教と二元論の世界制覇(騎馬系)

多元論と多神教文明を征服(海農系)

- 1.096年~1,291年 十字軍遠征 → 中東・アラビア
- 16世紀 スペイン → 中南米原住民(インディオス)
- 1,600年 イギリス → 東インド会社設立(インド~中国)
- 1,602年 オランダ → 東インド会社設立(東南アジア)
- 1,620年~1,890年 清教徒、アメリカ入植 →
北米原住民(インディアン) → 西海岸へ至る
- 1,840年 アヘン戦争 → イギリス VS 清(中国)
- 1,853年 ペリー(米)浦賀来航 → 日米和親条約
- 1,941年~45年 太平洋戦争 → 地球周回 ~ 日本終息

一神教と二元論の世界制覇

太平洋戦争(ワンワールド)の見直し理解

『日米戦争を起こしたのは誰か』・・・ 藤井・稲村・茂木＝勉誠出版

『フーヴァー大統領回顧録』～「ヤルタ会談」～「ポツダム宣言」

- ① **ルーズベルト**＝アメリカ32代大統領の野望
※ オレンジプラン＝海軍の対日作戦、ニューディール政策失敗の脱却
- ② **チャーチル**(英国)＝バランス外交から逸脱、米国参戦促す
- ③ **スターリン**(ソ連)＝共産主義の世界覇権野望(漁夫の利)
- ④ **蒋介石**(中華民国)＝中華民国 VS 中華人民共和国 ← 内戦支援
- ⑤ **ワンワールド勢力**＝連合軍を形成(プロテスタント教国化)
※ フリーメイソン＝**ルーズベルト**、**トルーマン**、**マカーサー**、**チャーチル**
- ⑥ **追い詰められた日本外交**＝政府・軍部・天皇 (天皇とワンワールド)

↓ 一神教と二元論の世界制覇の結果 ↓

多元論と多神教文明 = 日本から世界へ再発信

- 1,941年～45年 太平洋戦争→地球周回～日本終息
- 1,946年 日本国憲法公布（人類の理想規範）
 - ① アメリカの押し付け憲法……戦後教育（GHQ フレス・コード）
 - ② フランス革命（自由・平等・博愛）を参考とし、日本文明の英知を結集した成果……金森徳次郎全集 & 私の理解
 - ③ 日本を独立国として見れば……憲法の一部改正を要す
※ しかし、二元論世界の一員たる立場からの理解となる
 - ④ 日本文明から世界思想の発信……憲法趣意を世界へ波及
※ 多元論世界の中核たる立場から、世界へ発信（波動）
※ 多元論 → 複素思考（現実＋理想＝多次元）への昇華が必要

世界の歴史-1 (BC5万年~BC490年)

＜ワンワールド視点からの世界史概観＞

2018.10.10 制作=田中 文夫 (随時改訂)

時代の種別	社会体制	アメリカ	西・欧・ロシア	エジプト・(北アフリカ)	中・南・西アジア	中国・(朝鮮)	日本								
原始社会	原始社会	モンゴロイド(黄色人種)	コカノイド(白人)	ホモ・サピエンス	モンゴロイド(黄色人種)	モンゴロイド(黄色人種)	モンゴロイド(黄色人種)								
		30,000~25,000	ユーラシア大陸～ベーリング海～北米アメリカ大陸～南米アメリカ大陸の土著民族となる	40,000~30,000	中東から～地中海沿岸～西欧へ 中東から～ウラルタイ草原～北西欧へ	60,000	アフリカからエジプト～中東へ	50,000~40,000	シベリア～モンゴル～朝鮮 砂漠オアシス～中国～朝鮮 インド～中国～朝鮮	40,000	中国～朝鮮～日本本土 中国～琉球列島～日本本土 20,000	シベリア～カラフト～北海道			
		インディアン(英語種)			5,000	農耕発達	6,750	北イラクで最初の村落 ・ジャルモ文明							
		インディアン(テラン種)			3,500	ニつの統一国家 上エジプト, 下エジプト	3,500	ウバド文明 物興 ウバド文明 滅亡 ・世界へと開放	3,900	黄河文明 ・大陸経由, シルクロード経由 ・海洋経由					
					3,500	イギリスで石炭採掘	3,150	上下統一国家(ナルメル王) ・象形文字, 太陽暦	2,500	黄河文明 ・亀甲文字 ・青銅器					
					2,500	エーゲ文明物興	2,613	第4王朝(スネフェル王) ・ピラミッド, スフィンクス	2,100	夏王朝樹立					
					1,800	チャビン文明	2,161	第0王朝崩壊 ・古王時代の終焉	1,800	夏王朝樹立					
					1,800	クレタ文明物興	1,750	第2中間期に入る	1,792	夏王朝樹立					
					1,400	ミケーネ文明物興	1,540 頃	第18王朝=エジプト新王朝時代	1,830 頃	アッシーリア樹立					
					1,300	オルメカ文明(巨石文化)	1,484 頃	アマルナ宗教改革(アメンホテプ4世) アメン多神教からアテンカーメン一神教へ改変	1,230 頃	アッシーリア樹立					
			1,200	ドーリア人南下	1,331 頃	第12代ファラオ=ツタンカーメン天運	1,180	アッシーリア樹立							
			1,000	ギリシャ文明物興	1,330 頃	第13代ファラオ=アイは一神教連放	1,180	アッシーリア樹立							
			1,000	ギリシャ各地にポリス形成	1,230 頃	モーゼ=出エジプト(聖書物語)	1,000	アッシーリア樹立							
			900	ポリス形成	1,080	神権国家樹立 アメン大司教国家 太陽神(アメンラー)の多神教	928	アッシーリア樹立							
			814	カルタゴ樹立	928	イスラエル王国分裂	922	アッシーリア樹立							
			800	ギリシャ, ポリス社会成立	922	北イスラエル滅亡 ・北イスラエル(10支族)～サムリヤ ・南イスラエル(ユダ王国)～エルサレム ゾロアスター教(ゾラスタ)	800 頃	アッシーリア樹立							
			776	第1回=古代オリンピック(ギリシャ) ・市民=余暇=運動, 労働=採集, 農耕 ・運動=不平等な階級社会の中から発祥	722	アッシーリア樹立	745	アッシーリア樹立							
			753	古代ローマ樹立	603	アッシーリア樹立	605	アッシーリア樹立							
			492	ペルシャ戦争	605	アッシーリア樹立	600	アッシーリア樹立							
			490	マラ톤の戦い	586	アッシーリア樹立	586	アッシーリア樹立							
				アテナイ, プラタイア軍勝利	500	アッシーリア樹立	500	アッシーリア樹立							

一級行政区分
↓
国家
↓
民族
↓
文化圏

日本書紀
↓
編年時代

世界の歴史-2 (BC490年~AD400年)

時代の特徴	社会体制	アメリカ	西 欧 ・ ロシア	エジプト・(北アフリカ)	中・南・西 アジア	中 国 ・ (朝鮮)	日 本	
			480 サラムスの海戦 (デロス同盟) ギリシャ文化全盛期 ソクラテス、アリストテレス、ピタゴラス 3権分立思想=アリストテレス 都市民=余暇=運動=健康増進のため 都市民=ゲーム=楽しみ、勝利の快感 労働=奴隷、テータス(無産階級) 男=運動=戦争のために身体を鍛える ヒレノテス=「勇闘について」=人間工学の先駆				475 孝明天皇 (5)	
			400 ヘロドトス=「歴史」全9巻著作 ペロポネス戦争 ギリシャ=アテナイで天動説が流行	404 エジプト=ベルシヤから独立		450 「儒教」の体系化 =ベルシヤ帝国拡大(アケメネス朝)	403 春秋時代の終焉(〜BC770) 403 戦国時代幕開け 齊、趙、魏、楚	392 孝安天皇 (6)
			347 プラトン死去 = 「国家」 338 カイノニアの戦い	341 ベルシヤによるエジプト再支配				
			マケドニア王=アレクサンドロス ベルシヤ遠征=インドまで ヘレニズム文化を広める	332 マケドニアが征服 アレクサンドロス帝の地方				
		マヤ文明	334 古代オリエントとギリシャの融合 アルキメデス、ピタゴラス、キクロ	305 プトレマイオス王朝、成立 (古代エジプト最後の王朝)	430 「仏教」の体系化 =ベルシヤ帝国拡大(アケメネス朝)	384 楚が楚を滅ぼす		
			272 ローマの半島統一 第1次ポエニ戦争(〜241年) ※地中海の覇権争い					
			284 第2次ポエニ戦争(〜201年) カルタゴ将軍=ハンニバル					
			168 テオティワカン文明(メキシコ) 太陽のピラミッド 月のピラミッド 神権的階級社会					
			149 第3次ポエニ戦争 (148年)					
			146 カルタゴ滅亡 = ローマに併合					
			※ 古代ローマの男 = 運動 = 肉体&知性を鍛える 労働=奴隷、農奴、無産階級					
			73 スパルタクスの乱					
			60 第1回三國政治 (シーザー)	51 クレオパトラ王位(姉弟婚)				
			48 カエサル=「ガリア戦記」を書き	48 クレオパトラ = カエサル				
			44 カエサル(シッパラス)暗殺	30 エジプト滅亡 = ローマの属国				
			27 帝政ローマ樹立					
			BC	BC	4 イエス誕生	BC	BC	
			AD	AD	AD	AD	AD	
			66~73 ローマ帝国 VS ユダヤ (ユダヤ戦争) ユダヤ国家=神殿破壊=世界へ駆逐 ベスビオ火山噴火		30 イエス・キリスト=殉刑 (ゴルゴダの丘) キリスト教の歴史 (12使徒) ユダヤ戦争 ローマ帝国 VS ユダヤ風州ユダヤ人 エレサレム陥落 (70年)~福音を失う ユダヤ人は世界へ離散(国を持たない)	2 仏教伝来 新、魏唐 漢末 = 漢帝国復活(光武帝) 32 蜀趙 明帝 = 倭の国遣王に金印 100 北朝鮮 = 高句麗併呑	4 伊勢神宮(内宮)創建	
			96 五賢帝時代 (〜180年) ネロ、ドミティアス、トラヤヌス、アドリアヌス	135 ユダヤ人追放	184 黄巾の乱 (農民反乱) 三國時代の引き金 220 後漢滅亡 = 魏王朝樹立 222 三國時代 (魏、呉、蜀) 266 晋、魏唐 (魏を滅ぶ) 280 晋、中国統一 (〜316年) 286 三國志、倭人伝に「邪馬台国」 286 馬市君(秦氏)渡来=楊化 百濟二十一年(多様な民族混血)	71 景行天皇 (12) 西征東渡(西=南群、東=Aイヌ)		
			117 ローマ帝国、最盛期		226 ベルシヤ帝国樹立 (〜651年) ササン朝=ゾロアスター教=楊化	131 成務天皇 (13) = 政体 桓徳帝(ヤマト朝) = 国体		
			20頃 ミシュナ = ラビ・ユダヤ教、成立機軸 237の口伝律法集(全9巻63巻) 社会生活規範 神と人との関係 民族組織形成の規則 共有地の規則		304 五胡十六國時代 北方5族が中国に侵入 次々北方(16國)をつくる 316 匈奴(ホフシ) = 晋を滅ぼす 350 朝鮮に3國樹立 高句麗、百濟、新羅 百濟王が倭國贈り物 370 朝鮮	192 神武天皇 (14) 神功皇后出征 = 三韓征伐 200 八幡系天孫=品陀真尊王(8&9代) 品陀真尊王(神津速来襲=筑紫出生説) 270 応神天皇 (15) = 現皇統の始祖 外語技能民の移入 楊化朝鮮人 = 倭教文明伝来 八幡氏(6&7代)渡来 八幡神社 第4皇子 = 仁徳天皇 第5皇子 = 垂仁天皇 垂仁朝皇子=ツノキイコ (倭教文明) 相模國第四之宮前鳥神社祭神 楊化朝鮮人 = 高麗山(大瀧)		
			313 ローマ帝国=キリスト教公認 コンスタンチヌス帝(306~337)ミラノ勅令発布				310 仁徳天皇 (16) 大和朝廷 馬具、武器、武器が出土 七支刀 真土大塚山古墳(平塚市)〜4世紀後半	
			375 ゲルマン民族大移動				391 履中天皇 (17) 400 「内蔵」=神物、官物を分給収納	
			395 ローマ帝国、東西分裂 東ローマ帝国、西ローマ帝国					

高 城 王 朝 (次 史 8 代)

期

弥 生 時 代

三 輪 王 朝

応 神 王 朝

国家と宗教が結びつく

国家と宗教が結びつく

移動

山

山

世界の歴史-5 (1,300年~1,654年)

時代の特徴	社会体制	アメリカ	西・欧・ロシア	エジプト・(北アフリカ)	中・南・西アジア	中国・(朝鮮)	日本	
宗大 教改 高 時 代 1 世 界 史 俗 化 1 世 乱 事 認 化 観			アナーニ事件 ・十字軍失敗でローマ教皇の権威が 落ち、国王の力が増した。 ・フロンティアは教皇権の上に立ち、 経路王政の途を開く				1,301 後二条天皇(94) 1,306 花園天皇(95) 1,316 後醍醐天皇(96)	
			1,306 1370年=個人・芸術家の召使使用禁止令 ・多くの人は従わない⇒ロンドンの公害 ・ヴァロア朝(〜1,589年) ・フロンティアからフランスに13代続く 1,328 英仏間で100年戦争(〜1,453年) 1,339 十字軍 ⇒ ベスト流行=人口の激減 1,340代 大塔宮⇒欧州進出(ケルト国家統合)	・ウイロ文明はBC3,800年前に東西へ拡散する。東進は日本列島で海人国家をつくる。西進は馬蹄は北西欧でケルト国家をつくる。大塔宮は両者を融合させ、マニ教思想(一神教)となってワールド勢力を形成する。(融合美神=既=天とワールド)			1,331 光厳天皇(北朝-1) 1,333 大塔宮親良親王 ⇒ 征夷大将軍 大塔宮親王⇒南北朝の秘密結社 ⇒ 欧州進出 1,338 室町幕府 1,338 光明天皇(北朝-2) 1,339 後村上天皇(97) 1,348 崇光天皇(北朝-3) 1,352 後光厳天皇(北朝-4) 1,368 長慶天皇(98) 1,371 後醍醐天皇(北朝-5)	
			1,428 アステカ帝国樹立 1521年 ・北米メキシコ中央部 1,438 インカ帝国樹立 1572年 ・アンデス山脈全境	1,386 リトアニアポーランド王国、成立 ・リトアニア大公国とポーランド王国の 同意連合国家 1,415 ポルトガルの王子(エンリケ) ・セウタを攻略し、大航海時代幕開け ・エンリケはキリスト教騎士団の頭領 1,450 活版印刷(グーテンベルク)発明 東ローマ帝国(ビザンツ帝国)、滅亡 ・オスマン帝国に滅ぼされる 1,453 ビザンツ帝国=皇帝と ギリシャ正教=教皇とが同一人物 1,480 モスクワ大公国、樹立(専制君主制) ・皇帝=イヴァン3世(キリヤ正教) 大航海時代) 始まる 1,488 喜望峯発見(バウロウ・デ・メス) 1,492 スペイン王国、統合(1501年=キリスト教再征服) ・1777年島から1534年勢力を一掃(1777年王国滅亡)		1,370 ティムール朝(〜1,507年) ・イスラム王朝(モンゴル人) ・中央アジア、イラン、インド 元(モンゴル)、侵襲 侵襲	1,368 明、建國(〜1,644年) ・元は北方に後進 1,392 高麗滅亡、朝鮮(李氏)建國 1,400 「水滸伝」、伝奇歴史小説著作 ・永楽帝、即位(明、第3皇帝) 1,402 ・永楽大元、四書大全、五経大全 ・性理大全、歴代名臣事略 ・モンゴル撃退 1,421 明、北京に遷都(蒙古対策)	1,383 後鳥羽天皇(90) 1,382 後小松天皇(100) 1,412 新光天皇(101) 1,428 後花園天皇(102) 1,464 後土御門天皇(103) 1,467 応仁の乱 ⇒ 1477
			1,492 コロンブス、サン・サルバドル島到達 先住民インディア人の人口推計 ・11,000万人〜4,000万人 1,498 コロンブス、アメリカ大陸到達 1,519 マゼラン(第1回)世界一周出発 ・スペイン王の支援で西回り航路 1,521 マゼラン、マクタン島にて戦死 アテスカ帝国滅亡(1571年) ・スペイン征服・統治 ①『コロンブスが来たら』先住民の歴史と未来⇒マヌエル・ド・メネンデス ②『インディアの歴史』についての断片的な報告⇒ス・ナリ ③『世界の歴史』この500年、白人は世界を何としてきたか⇒清水眞八郎	1,492 新大陸発見(コロンブス) トルデシヤ条約(世界二分) 1,494 世界二分(西経46度)⇒ポルトガル 1,498 インド航路発見(バスク・ダ・ガマ) 白人(スペイン・ポルトガル)土着民族支配 ・キリスト教は手先権限となる ・東洋航路と結(結集民族) 1,517 宗教改革 ⇒ 2643年 1,519 マゼラン船隊=世界一周(〜1,522年) ハブスブルク帝国(オーストリア) ・オーストリア、ハヴリ、ドイツを統合 1,526 サラゴザの戦い(スペイン/ポルトガル) ・世界二分(西経135度)⇒日本 1,534 イギリス国教会 ・ヘンリー8世がイギリス国教会のトップ 1,543 地動説 ⇒ コペルニクス 1,558 エリザベス1世(〜1,603年) ・イングランド、イギリスの女王となる 1,568 豊臣秀吉(〜1,618年) ・ローマ帝国 VS オスマン帝国(計=12回) 1,580 ポルトガル(アヴィス王朝)スペイン併合 オランダ独立宣言 1,581 ・ネーデルラント共和国⇒オランダ (ベルギー、オランダ、ルクセンブルグ) アルマダ海戦 ⇒ スペイン没落の始め 1,588 ・イギリス艦隊がスペイン艦隊を破る (スペイン無敵艦隊を破る)	1,517 カイロ/アラブ=イスラム)滅亡 『侵略の世界史』この500年、白人は	1,501 サファビド朝(〜1,719年) ・イランのイスラーム教 ゴア総督府(インド) ・ポルトガルの領土を縮小 1,510 ・ポルトガルの領土を縮小 1,520 スレイマン1世(〜1,566) ・「リコニヤ」のトルコ語発音 ムガル帝国、建國(〜1,858年) ・1626年イギリス、インド大規模支配 ・ポルトガルが介入せず 1,568 「シムルハル=アムール」ユダヤの法典を統合 ・アムール川、スワハリ、両社会の統一規範 レビットの海戦 1,571 ・オスマン帝国とペルシア、ヴェネツィアの間 ・オスマン帝国の没落 1,586 スペイン ⇒ ルソン島(マニラ) 1,588 ポルトガル ⇒ マカオ(香港) オランダ ⇒ ジャバ島 1,602 『東インド会社』 ・アジア植民地化	1,500 後柏原天皇(104) 1,526 後奈良天皇(105) 1,547 ポルトガル人=種子島上陸 ・鉄砲を伝えた ⇒ 八坂金平は2丁を購入 ※ 数年後 ⇒ 八坂金平は600丁の鉄砲製造(火縄銃) 1,549 スペイン人=フランシスコ・ザビエル、鹿児島上陸 ・キリスト教を布教(イエズス会⇒カトリック) ・宣教師は徳川の先駆者の存在 ※ 鉄砲(種子島)はコピーされて全土普及 1,557 正親町天皇(106) 1,560 織田信長 ⇒ 横俣期(戦い) 1,562 徳川少年使節 ⇒ 九州・朝鮮大名 ・イエズス会派遣 ⇒ 徳川家康の御用 1,588 後徳川天皇(107) 1,590 豊臣秀吉 ⇒ 天下統一 1,590 文祿の役(〜1,598)豊臣秀吉、朝鮮出兵 ・目的は西欧に對抗すべく(明)の攻略 関ヶ原の戦い(キリヤVSスペイン)代理戦争⇒内戦 ・東軍=徳川家康=東インド会社(キリヤ) ・西軍=石田三成⇒イエズス会とスペイン、ポルトガル 1,600 江戸幕府 1,603 ・ウイリアム・アダム(イギリス) ⇒ 三浦按察 ・家康の外交顧問 ⇒ イギリス、オランダが台頭 ※ 未だ船による南蛮貿易奨励⇒移民を奨励 1,611 後水尾天皇(108) 1,613 家康はキリスト教禁止令を出す 1,629 明正天皇(109) 女帝 1,633 徳川幕府 ⇒ 第1次鎖国令(オランダ=出島で許可) 1,639 徳川幕府 ⇒ 第2次鎖国令(海外渡航禁止) 1,641 徳川幕府 ⇒ 徳川体制完成 1,643 後光明天皇(110) 1,654 後西天皇(111) ※ 1641年、ポルトガルの勢力は衰える ※ 『イギリス』オランダは日本まで東洋航路を築く余福なし ※ 徳川幕府は200年の平和と文化発展をみる	
			1,570 先住民インディア人の人口推計 ・1,000万人 1,572 インカ帝国滅亡(ピサロ・ピサロ) ・スペイン征服・統治 コンヴェルソ ⇒ 生き残るためユダヤ教⇒キリスト教へ改宗 母親を通じて子どもへ、ユダヤ教信仰を密かに引き継	1,600 1602年『東インド会社』設立 1,602 1602年『東インド会社』設立 ※ 帝国主義の先駆け、交易や植民			1,612 清、建國(〜1,812年) 1,616 金、滿洲に再建(女真族) 1,642 明、滅亡	1,611 後水尾天皇(108) 1,613 家康はキリスト教禁止令を出す 1,629 明正天皇(109) 女帝 1,633 徳川幕府 ⇒ 第1次鎖国令(オランダ=出島で許可) 1,639 徳川幕府 ⇒ 第2次鎖国令(海外渡航禁止) 1,641 徳川幕府 ⇒ 徳川体制完成 1,643 後光明天皇(110) 1,654 後西天皇(111)
			1,620 清教徒、アメリカ入植開始 ・メイフラワー号、マサチューセッツ州アリス入植 ・インディアス(インディアン)の破壊・征服	1,620 清教徒、アメリカ入植開始 ・メイフラワー号、イギリス、プリマスを出発 1,632 ガリレオ・ガリレイ ⇒ 『天動説』 「それでも地球は回っている」 1,637 予知 ⇒ 『方法序説』 「我思う、故に我あり」ゴットフリート・ライプニッツ 1,638 イギリスの主権戦争(〜1680) 1,641 清教徒革命(〜1,649年) クロムウェル ・イングランド、スコットランド、アイルランドの内戦 1,652 英蘭戦争(〜1,624年英蘭協約) ・オランダVSイギリス 東インド会社が喧嘩		台湾、トンキン、コーチン、カンボジャ シヤム、ルソン	1,612 清、建國(〜1,812年) 1,616 金、滿洲に再建(女真族) 1,642 明、滅亡	1,611 後水尾天皇(108) 1,613 家康はキリスト教禁止令を出す 1,629 明正天皇(109) 女帝 1,633 徳川幕府 ⇒ 第1次鎖国令(オランダ=出島で許可) 1,639 徳川幕府 ⇒ 第2次鎖国令(海外渡航禁止) 1,641 徳川幕府 ⇒ 徳川体制完成 1,643 後光明天皇(110) 1,654 後西天皇(111)

室町時代
 武家
 第3
 家
 三
 家
 期
 天皇(天皇)

【日本習合（和合）→のまとめ】

1. 聖徳太子 → 17条憲法（604年）

- ◆ **和**（ヤワラギ）を以って**貴しと為し**、
忤（サカ）ふること無きを宗とせよ。
(文明と文化の2面)

2. 日本国憲法（1946年11月3日公布） ← **二面性を理解**

- ◆ 国民主権、基本的人権の尊重、平和主義、天皇制
天皇=君主（世襲）でありなが統治せず国民の象徴 ← 国体の軸
- ◆ 前文、9条 → 戦争放棄（世界唯一）
- ◆ 前文は、**人類普遍の原理**と崇高な**理想**を示す
- ◆ 憲法の**二面性** ← **人類憲法** & **独立国憲法** ~ 2面性
(文化の面) (文明の面)

3. 日本から世界へ・・・**波動的伝搬を！**

- ◆ **複素的人類総和認識**の普及
= [実相世界 + (i) 虚相世界] · t（時間） ~ 次元
 - ・ 実相世界 → **文明・文化**の可視的活動世界（物質）
 - ・ 虚相世界 → **意識**の不可視的抽象世界（脳機能）

現生人類の段階的進化

ホモ・サピエンス・イネフトゥス (自然環境や食料、従来^の知恵や幸せに^は適応しない
新人類)

1) **ホモ・サピエンス = 賢い(考える)人間 (考える人)**

◆ 人間は考える葦である・・・フランスの思想家パスカルの言葉 (パンセー)

◆ **幸福感、充足感、充実感 ~ 価値観**

2) **ホモ・ファールベル = 物を作る人間 (文明人)**

◆ 道具を作り、生活を豊かにさせる (衣・食・住 → 都市生活) = 日常

◆ **山岳施設整備 → 非日常的環境(自然)を日常性の中に組み込む**

3) **ホモ・ルーデンス = 遊戯(遊ぶ)人間 (文化人)**

◆ オランダの歴史家・・・ヨハン・ホイジンガ、1938年発表 (1971和訳版)

◆ **登山、山岳スポーツ、ハイキング ~ 健康運動、運動競技、知的遊び**

4) **ホモ・エコノミクス = 経済合理主義的人間 (経済人)**

◆ 経済の出発 = **経世済民** → **資本独占(私利私欲)** → **トランプ現象**

経世済民 = 中国のことわざ → 世を**経**(おさめ)、民を**済**(すくう)

< 民主主義の始まり >

1,789~1,799年 **フランス革命**により、絶対君主制(王)が崩壊し、**国民主権**の**共和制国家**が確立される

君主制 = **君主** (世襲) は政治権力を持つが、制限もある

(君主) → **王**=イギリス、**皇帝**=旧・中国、旧・ロシア、**天皇**=日本

- ① **絶対君主制**.....君主が全てに優越した権限をもつ
- ② **立憲君主制**.....憲法に制約されるが、君主は議会や内閣より優越した権限をもつ
- ③ **議会主義君主制**..議会や内閣が君主に優越した権限保持

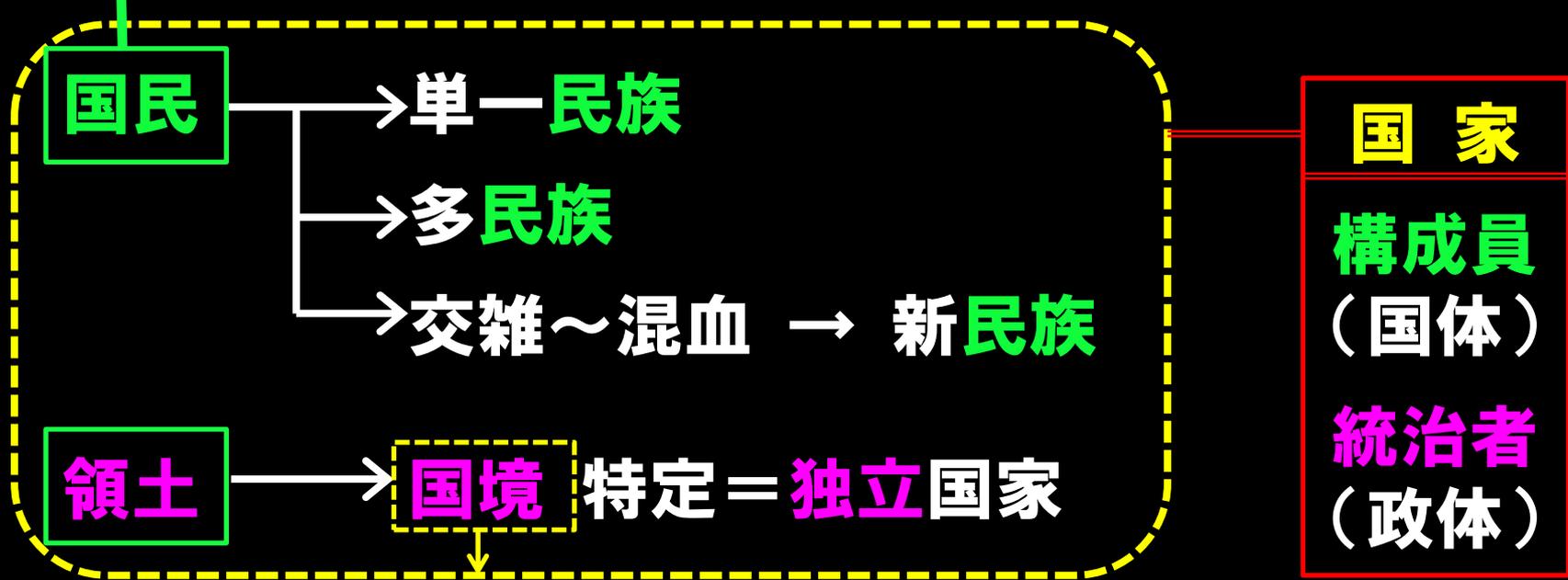
※ **戦後日本天皇制** = **君臨すれど統治せず**~**天皇は国民の象徴**
象徴天皇と国民主権 = **天皇が「国体」、国民が「政体」**

共和制 = 君主たる存在を認めない体制 ~ **国民主権**

- ・**アメリカ、フランス、ドイツ**、etc
- ・第二次世界大戦後に独立した多くの国

ヒト
(個)

国家(国境)の意味するところ = 国民と領土



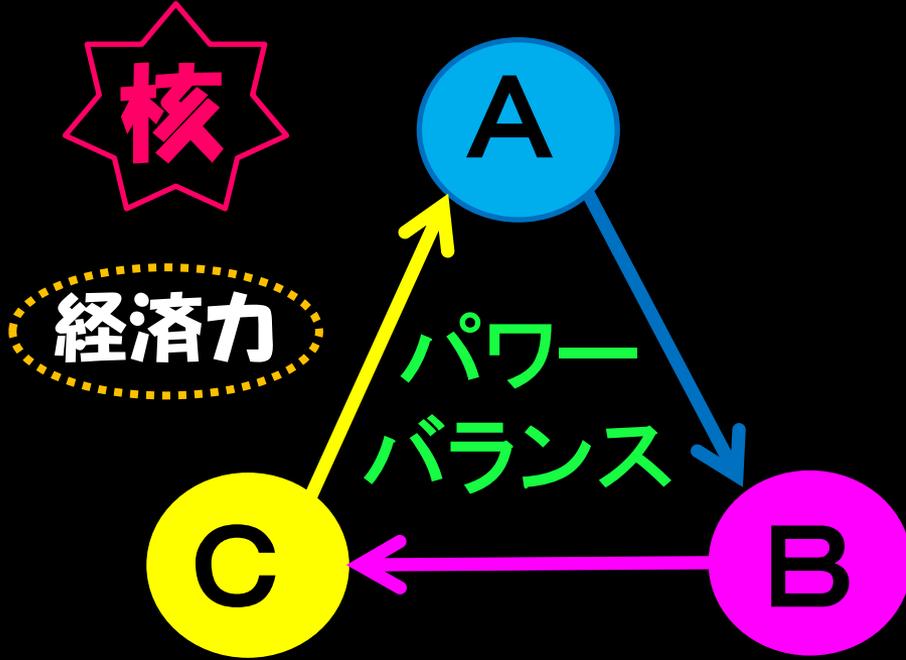
- **民主主義** = 統治者 (政治権力) が構成員 (国民) から選出
 - ※ 1,789~1,799年: フランス革命以降「国民主権=国家」が増す
- **権威主義** = 独裁政治~個人や一党が絶対的権力独占
 - 専制政治~支配者が独断で思いのまま権力行使
 - ※ 形を変えがら、現在も無くならない
- **全体主義** = 個人の全てが全体に従属する思想・政治体制
 - ※ 戦時体制下における軍国主義等
- その他 = 以上に含まれないもの

社会体制	統治者 (政体)	統治体制	構成者 (国体)	該当国
共和制 連邦共和制	国民代表	議会制 民主主義	国民	フランス アメリカ ロシア
立憲 君主制	君主 国民代表	議会制 立憲民主主義	王族 国民	イギリス ニュージー ランド
君主制	君主= 国王	絶対君主制	王族 国民	サウジアラ ビア
権力 集中制	国家主席 (皇帝)	一党集中制 (儒教思想)	国民 (皇帝)	中国 (北朝鮮)
絶対制 独裁制	絶対者 独裁者	専制 独裁主義	絶対者 国民	ベネズエラ (ドイツ= ヒトラー)
立憲象徴 天皇制	国民代表	議会制 民主主義	天皇・皇后 国民	象徴天皇 日本

EU (European Union) = **欧州連合** ~ **国境を自由化**

パワーバランス

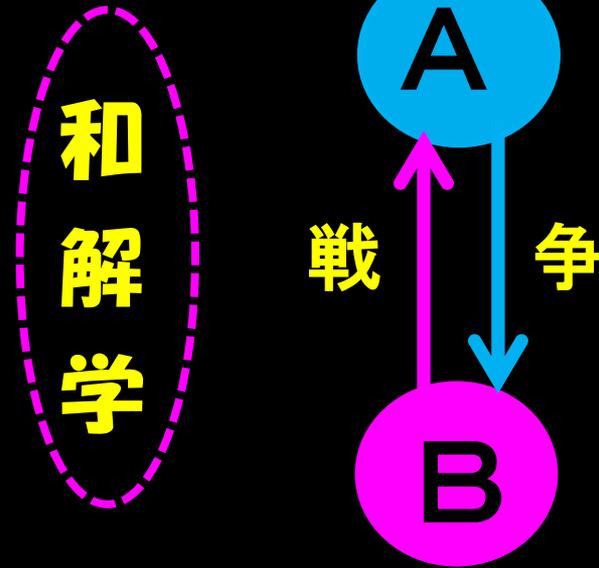
独立国の相互バランス
戦力・経済力均衡を要す



多元均衡

戦争

勝者は帝国を目指す
敗者の歴史は改ざん



二元対立

文化

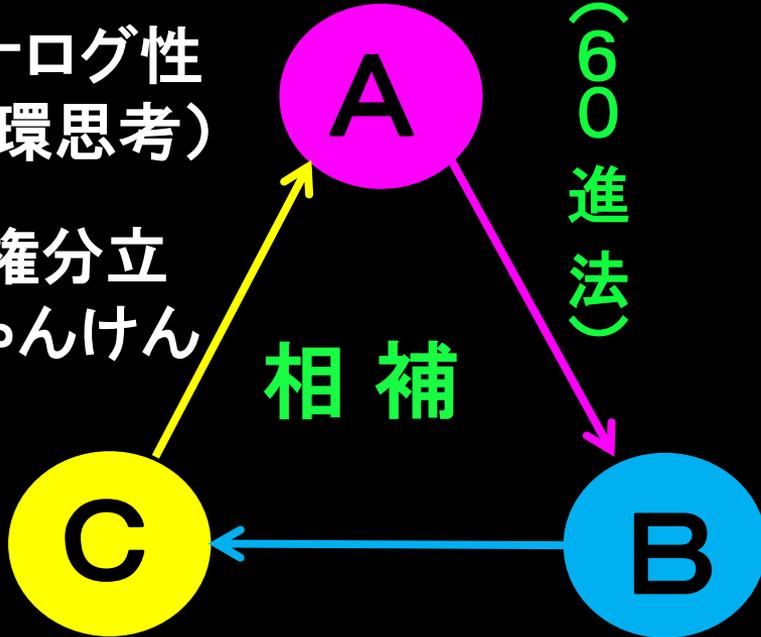
(多様な享受・価値)

心の幸福 = 感受性・思索・欲求

調和 (幸福 → 希望)

アナログ性
(循環思考)

三権分立
じゃんけん



(60進法)

相補

(自己消滅) 同化の美学 →

星の王子さま

死

生きる

(二方向性)

生

文明

(進化の一方向性)

優者の幸福 = 差別、優劣

絶対者 → (神)



(2進法)

相対

デジタル性
(散逸思考)

勝敗

序列

階層

正規分布

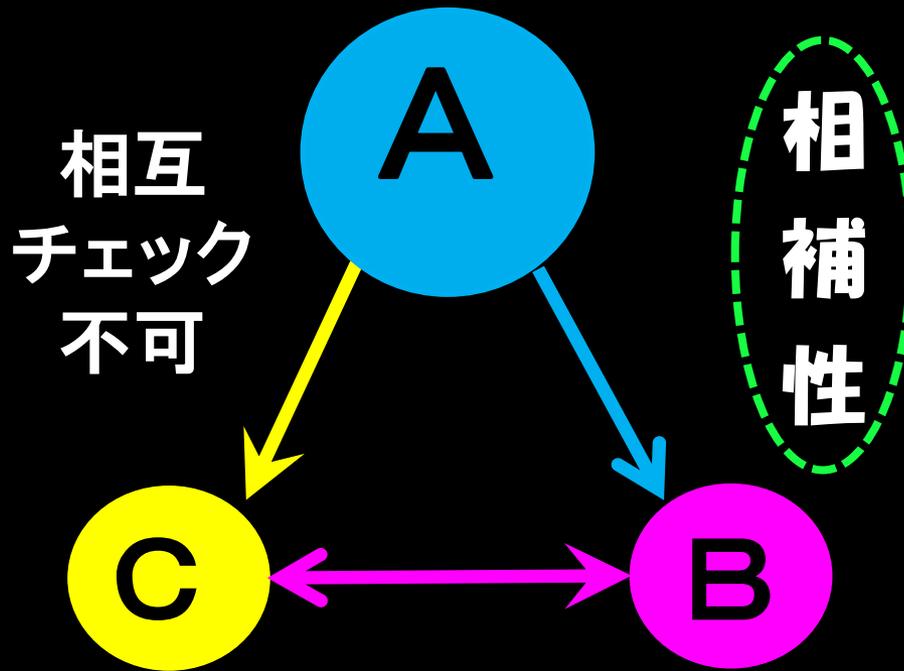
← 抵抗の美学 (自己主張)

かもめのジョナサン

三権分立の危機

権力のアンバランス

忖度の横行

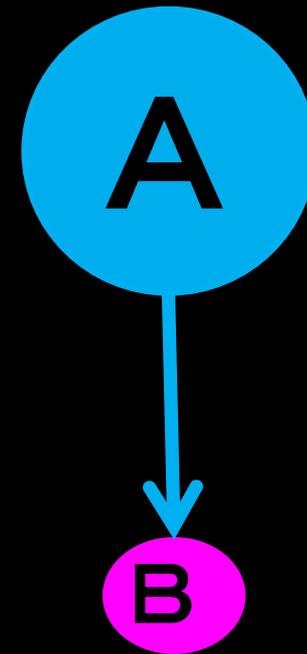


A = 権力の独走

権力独裁

情報操作(ポピュリズム化)

情報操作(帝国化)



B = 少数切り捨て

和解学

朝日新聞2019.02.27朝刊掲載
早稲田大学教授＝浅野豊美

- ◆ 地域特有の歴史的空間を意識し、
政府と社会集団が入りまじって、
異なる次元を超えて展開される歴史問題に、
解決の方向性を与えようとするもの。
- ◆ 法的論理（国際法）と心的救済の『正義』は、
ずれている
正義は複数存在する～優越を競わず～議論し続ける
- ◆ 異なる次元での対立は、
それらを包摂する **大きな論理** が必要
- ◆ **和解学**は、
薄れてしまった市民社会のつながりを、
人工的に再生する取り組み
- ※ 一方の代弁者とならず～総合的理解を深める＝ 複素的理解

大きな論理

文明・文化を総合理解
(複素認識)

◆ ヘーゲル「弁証法」の復活

- 「正論 → 反論 → 合意形成」による総合 ~ アナログ思考
- デジタル思考 (2元論) からは、合意形成過程が削除
「正 / 反」、「YES / NO」、「1 / 0」← 1局面でのデジタル性
(場面、場面の局所判断は、複層面がもっている総合概念を見失う)

◆ 複素認識 → 総合概念

- 複素認識 = 現実認識 (現実社会) + (i) 人の意識 (見えない脳内)
(代謝のアナログ性) (離散的なデジタル性)

◆ 地球は、宇宙に拡散している 分子の淀み

老いの道標

登山と人・文明・文化＝環境

(実践的総合人間学)



田中文夫

2. 「正・反・合」～ 弁証法からの複合論

哲学的な【正 反 合】の考え方は、ヘーゲルによって定式化された弁証法論理の三段階を示すとされています。

ある判断を定立(正)とし①、それに矛盾する判断を反定立(反)とし②、正反二つの判断を統合したより高い判断を総合(合)とする③、三段階です(大辞林：参照)。このことは『論理的なものの見方』に、三つの側面があることも示します。

- ① 抽象的側面あるいは悟性的側面 (定立＝思惟の固定した規定性)
- ② 弁証法的側面あるいは否定的理性の側面 (反定立＝反対となる諸規定への移行)
- ③ 思弁的側面あるいは肯定的理性の側面 (統合＝対立する二つの規定を肯定的に解消統合し、総合とする)

しかしこの三つの側面への移行は単純なものでなく、それらの隙間にこそ弁証法のダイナミズムが存在するという解釈があります。その隙間における対話のせめぎ合い(弁証)こそが、隠れて見えない重要なアクションである、という指摘です。これら三つの側面は直列に順序だてて表出されるばかりでなく、時には並列に、時には前後逆転さえする脳の意識と言語機能の多次元性を表します。

ヘーゲルの弁証法は「対話なき弁証法」と言われ、三段階の隙間にあるせめぎ合いのダイナミズムに欠けると指摘されます。それを克服し対話によって立つ方法として、「正—正—反—合」という“複合論”が登場します。嶋喜一郎氏は『複合論は認識の領域だけに位置づく小さな道具(方法・技術)にすぎません(弁証法試論)』として、複素数モデルを提示されます。

例えば： $A = a + bi$ 実数部分「a」は「自己表出」、虚数部分「b」は「指示表出」とし、あるもの A の認識論理形式を複合構成します。

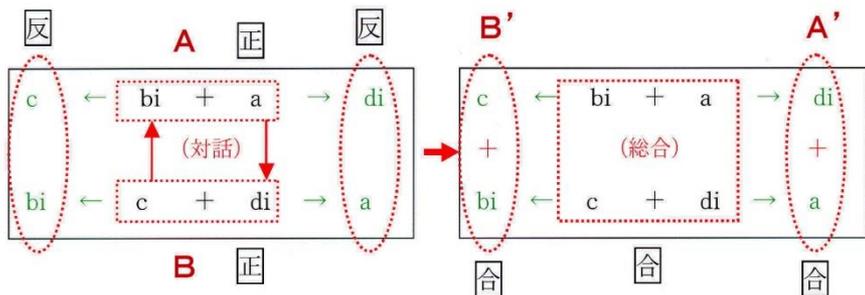
対話による思考方法(弁証法)は、異なった認識論理が二つ以上同じ場所にあることになり、次の二つの \square を選択します。

① $A = bi + a$ ② $B = c + di$

この二つの論理の対話は、次の図のように表せるといえます。

【第1段階】

① A と ② B の対話(議論)の中で、お互いの理解・啓蒙・学習等により、「相反」する要素 (c, di, bi, a) が認識され、左右の四隅に $\boxed{\text{反}}$ の要素として抽出されます。



【第2段階】

次に $\boxed{\text{反}}$ の要素どうしが「結合」すると新たな論理が創出され、③ A' と ④ B' で表わすことができます。

③ $A' = di + a$ ④ $B' = c + bi$

【第3段階】

第1段階における対話内容の総合 [$A \times B$] と、第2段階において創出された新たな論理内容の総合 [$A' \times B'$] は、同一場所にあつてより高次な位相へと昇華します。

以上の段階をまとめてみると、次表となります。相反する相手と対話(弁証法)することにより、より高次な合意へと至ることになります。会議は、関係者が集まって議論(対話)により意思決定するものですが、「提案・質疑応答・議論・議決」行為の内容です。議決された内容は

「決議」となり、決議事項、決議内容、決議書となります。また、国会決議においては「法律」となります。

「討論」はディベートともいわれ、ある主題についての賛成・反対等の意見を表明、主張、闘わせる(論破)ことで、議論のように多様な意見を聞き、学び合うものではないとされます。

第1段階 (対話)	$\boxed{\text{正}}$ ① $A = bi + a \Rightarrow \boxed{\text{反}}$ c, di
	$\boxed{\text{正}}$ ② $B = c + di \Rightarrow \boxed{\text{反}}$ bi, a
第2段階 (結合)	③ $A' = di + a$
	④ $B' = c + bi$
第3段階 (総合)	$\boxed{\text{合}}$ $A \times B = (bi+a) \times (c+di)$ $= bci + ac - bd + adi$ $= \underline{(ac-bd)} + (bc+ad)i$
	$\boxed{\text{合}}$ $A' \times B' = (di+a) \times (c+bi)$ $= cdi + ac - bd + abi$ $= \underline{(ac-bd)} + (cd+ab)i$
	$A \times B \doteq A' \times B' = x + yi$ (昇華) $= C$ (より高次な位相)

弁証法 (dialectic) : 思考を深める方法 <P-184 弁証法論理:参照>

対立した意見の持ち主が対話をおこなうことにより、互いにより深い思考に向かっていく方法。

討論 (debate) : 論破により自己主張の正しさを論証する方法。

異なった意見の持ち主が議論を戦わせ、互いに自己主張が正しいことを論証する営み。

議論 (discussion) : 多様な意見を学び合う方法。

異なった意見の持ち主が集まり互いの意見を語り合うことにより、多様な意見を学び合う営み。

人間工学の始まり ～ 古代ギリシャ

『サピエンス異変』
ヴァイバー・クリガン著

- ◆ ホモ・サピエンスは**道具を発明**し、**道具を用いて労働の効率**を上げ、**仕事の最適化**を図ってきた。～ 心身が変異
- ◆ 道具には**増幅作用**があり、**人力をはるかに超えた効果**を発揮する。
- ◆ **人間工学**の初め → キリシャの哲学者＝ヒポクラテス(BC460～370) **病院について**

道具を使った**増幅作用**（ハードウェア①からソフトウェア②③へ移行）

- ① 力（パワー）・・・機械力（エンジン、車輪、歯車、滑車）
- ② 記憶・判断力・・・コンピュータ（CPU）、人工知能（AI）
- ③ 情報伝搬力・・・波動（光、電波、音波、振動波）
・・・SNS（インターネットウェブ）

道具の最適化と効果

- ① 最適化（マッチングマネジメント）・・・**最大効果** = 核利用（原子力利用）
- ② 最不適格（ミスマッチング）・・・**最大被害** = 核破壊（爆弾、ムトダウソ）

- 人間工学**
- ① 職場の要求・・・技能
 - ② 労働環境・・・各種の労働リスク
 - ③ 人体の能力と欲求・・・**バランス＝能力 / 欲求 = 結果**
 - ④ 生産性・・・**最適化＝経済効率、環境適用、能力**

デジタルテクノロジー

- ◆ 非連続・離散・間欠なデジタル信号は、連続性**因果関係**を含まない
 - ・ **原因** = 過去と **結果** = 現在 & 未来は、**プログラム**によって決まる
 - ・ 仏教の「**因果応報**」 = 生前の行いが、死後世界の根拠と限らない
 - ・ 一神教の**神との契約** = **聖書**や**コーラン**は、一種の**プロトコル**
 - ・ 儒教の五常（仁・義・礼・智・信）、五倫（父子・君臣・夫婦・長幼・朋友）、六経（易・書・詩・礼・楽・春秋）も**プロトコル**
- ◆ 複雑な問題を分解して**単純化** = **2進法**（YES / NO）、（1 / 0）
 - ・ 単純化して組み立て直す = **プログラミング**
 - ・ 単純なメッセージは**拡散**する = **ビジュアル**（写真・動画）
 - ・ 抽象力を要さず、**感情に直接アピール** = 「**イイネ!**」
 - ・ 単純フレーズを**繰り返す** = 広告、キャンペーン
 - ・ **真 / 偽の判定**が困難 = **フェイクニュース**、**ディスインフォメーション**
- ◆ **ネット社会**（SNS） → **ポピュリズム** & **情報操作統制社会**
 - ・ ネット社会は同種同類に固まりやすい = 人を**つなげる**が、**分断**もする
 - ・ テクノロジーは進化の一方向 = **善悪**は、**人間社会側**の問題（**文化度**）
 - ・ **ポスト・トゥルース**の時代 = **真実**ではなく、**感情**や**信条**で判断行動する（**トランプ大統領選出**、**イギリスのEU離脱国民投票結果** ~ **人間性善説 / 性悪説**）

デジタル量とポピュリズム

デジタル量（国民投票・イイネ数・クリック数）は、空気のポピュリズムを招く

- ◆ 公表されない**ビッグデータ**から、**データサイエンティスト**は傾向を見出す特定**バイアス**（価値）をかけ、思考操作で**増幅可能**＝洗脳、**空気**（ムード）デジタル思考は・・・**真・偽がバイアス**（価値観）によって切り替わる
 - ※ネガティブ・キャンペーン / ポジティブ・キャンペーン
 - ※ビッグデータは監視し、予測し、差別する
- ◆ **アナログ・ジャーナリズム**・・・取材＝記者（人）
 - ・裏付け確認～編集～校正～再確認＝それぞれ**責任**が問われる
 - ・メディア媒体＝紙＝長期保存が可能（文字・図絵）抽象力を要す
- ◆ **デジタル・ジャーナリズム**・・・取材＝人・機械（各種センサ）
 - ・いつ、どこで、**だれでも**（機械も）が発信者となれ、**責任**を負わない
 - ・**映像・音声**は抽象力を要さず、その感性に同調し、「**イイネ!**」を集める
 - ・フェイク（偽）、トルー（真）の見分けが困難
 - ・メディア媒体＝電子記憶は、装置が変わると再生が困難
 - ・フェイクニュースは面白く、共鳴～拡散～炎上しやすい
 - ・デジタル～ターゲット・・・情報の雨で異論・小論をノイズ（雑音）化する
 - ・マイクロ～ターゲット・・・特定したプロパガンダがキャスティングボードを握る場合もある（小数票の**バイアス**）

インターネットの次に来るもの

著＝ケヴィン・ケリー
2016年7月：翻訳出版

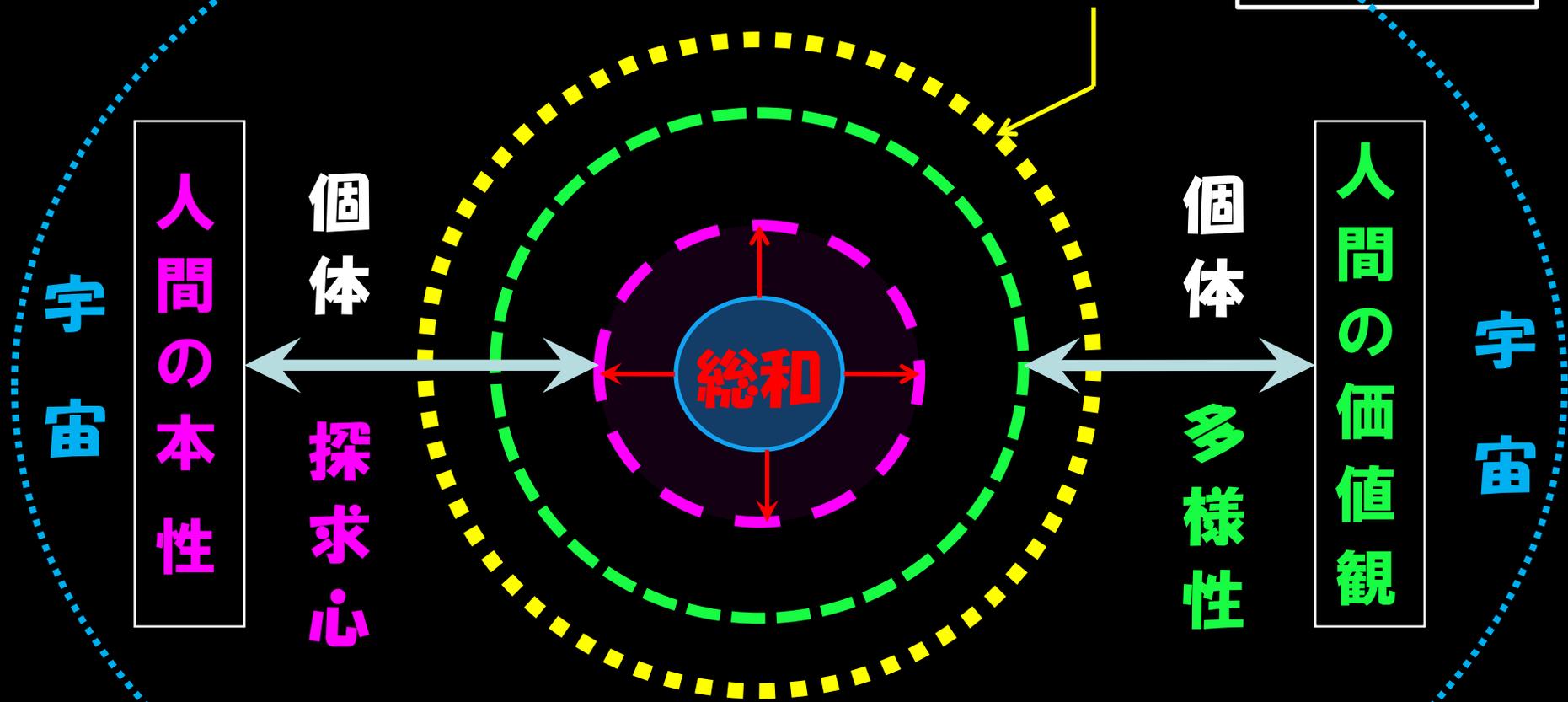
◆ 未来を決める12の法則

・デジタル世界 = ビット・情報・ネットワーク上の欲求と、自然の実態が乖離

1. Becoming ビカミング ～ 成るようになる = 自己組織化
2. Cognifying コグニファイング ～ 情報を認知化 = AIは社会インフラ
3. Flowing フローイング ～ 情報の流動性 = リアルタイムな判断
4. Screening スクリーニング ～ 画面で読む = アップデートと参加型文化
5. Accessing アクセシング ～ 分散アクセス = リアルタイム・オンデマンド
6. Sharing シェアリング ～ 共有 = フリーソフト、コミューン、コラボ
7. Filtering フィルタリング ～ 選別 = ゲートキーパー（政府、親、仲介者、信用）
8. Remixing リミクシング ～ 再構築 = メディアリテラシー（複合・混合文化）
9. Interacting インタラクティング ～ 相互作用 = バーチャルリアリティ（現実・仮想）
10. Tracking トラッキング ～ 追跡 = 自己追跡例（食事、睡眠、運動、健康、DNA）
11. Questioning クエスチョニング ～ 問い・答えを探す = 人間とは何か、宇宙とは何か
12. Beginning ビギニング ～ 始まっている = デジタル・カルチャーというプラットホーム

総和による波動的拡散と宇宙的理解

インターネットとIT技術 → 人類を平準化 = ロボット化



感動～共鳴(イイネ!)～共振～同期～調和～総和～知恵

総和の工程 = 核心 → 同心円の波及 → 総和と知恵

ホモ・サピエンスの未来

地球の境界を超え → 宇宙に～はばたく！！

- ◆ デジタル技術・デジタル思考はエントロピーを増大させ、地球という境界の中では、人類平準化と生命エネルギー低下をもたらせるが、文明進化手段としては最強な効果を発揮する。
- ◆ 人類は、宇宙の流れにおける淀みとして、宇宙を放射的視野から理解できる、小宇宙な主体性をもっている。
　　< 小宇宙な主体的・淀み = 文明 & 文化 >
- ◆ 小宇宙な人類主体性は、フラクタル(相似)思考から、宇宙の概要を理解・把握し、宇宙にはばたける！！

ご案内

国立天文台 宇宙4次元シアター鑑賞会



国立天文台（三鷹） 四次元シアター鑑賞会

期 日 ： 3月27日（水）

場 所 ： 国立天文台 三鷹キャンパス

集 合 ： 13：30までに ～ 国立天文台正門前

時刻 & 内容 :

14：00～14：40 宇宙四次元シアター鑑賞会

14：50～
アインシュタイン塔見学
構内散策 & 見学～流れ解散

ご案内 ： 日江井榮二郎 ・ 国立天文台名誉教授
（東大山の会～中村純二先生後輩）

ご静聴
ありがとうございました

2019年3月8日

田 中 文 夫